



商品コード	レーベル	レコード番号	商品名	販売価格 (税込)	M/S	評価
1393-001	DGG	30 455	E.マイナルディ(vc)M.ラウハイゼン(pf) / チェロ小品集/ シューベルト:アヴェ・マリア, シューマン:夕暮れの歌, グルック:精霊の踊り, グラツィオーリ:アダージョ	¥27,500	M	白7
1393-002	ALPHA	CL 2001	G.ルメール指揮リエージュ・ソロイスト, A.コック(vn) / J.N.アマール:交響曲Op.2-4, ルクー:アダージョOp.3	¥8,800	M	A7
1393-003	Orch. de Chambre Bernard Thomas	BT 1	B.トマ指揮ベルナール・トマ室内o., J.J.カントロフ, J.C.デュラン, J.C.プーベール-R.ジャームセル(vn)/P.ペリシエ(ob)/ バツハ:Vn・Ob協奏曲BWV.1060, ヴィヴァルディ:2Vn協奏曲RV.522, ルクレール:Vn協奏曲Op.7-4	¥4,950	S	A7
1393-004	ODEON	PALP 1747	R.テューレック(pf) / バツハ:W.F.バツハの音楽帖(抜粋13曲), イタリア風のアリアと変奏BWV.989	¥13,200	M	A7
1393-005	プライベート	MLGD 05	F.M.マルセイヤック(s)J.マルセイヤック(pf) / 歌曲・アリア集/フォーレ, デュパルク, マスネ, バツハ, ヘンデル	¥7,700	M	A8/7
1393-006	PHILIPS	844 824 BY	スウィングル・シンガーズ / Jazz Sébastien Bach(全13曲)/ 平均律~前奏曲, フーガ, G線上のアリア, カノン, インヴェンション他	¥4,950	S	A7
1393-007	PHILIPS	641 405 AXL	R.カサドシュ(pf) / バツハ:イタリア協奏曲BWV.971, トッカータとフーガBWV.914, パルティータ2番BWV.826	¥6,600	M	A7
1393-008	DECCA	LXT 5123	W.バックハウス(pf)K.ベーム指揮ウィーンpo. / モーツァルト:Pf協奏曲27番K.595, Pfソナタ11番K.331	¥9,900	M	A7
1393-009	DECCA	LXT 2542	ウィーン八重奏団のメンバー(W.ポスコフスキー, P.マタイス(vn)G.ブライテンバツハ(va)N.ヒューブナー(vc) J.クルンプ(cb)J.ヴェレヴァ, O.ニッチュ(hr) / モーツァルト:ディヴェルティメント17番K.334	¥9,900	M	A7
1393-009b	DECCA	LXT 2542	ウィーン八重奏団のメンバー(W.ポスコフスキー, P.マタイス(vn)G.ブライテンバツハ(va)N.ヒューブナー(vc) J.クルンプ(cb)J.ヴェレヴァ, O.ニッチュ(hr) / モーツァルト:ディヴェルティメント17番K.334	¥3,300	M	A7/6
1393-010	DECCA	LXT 2558	S.チェリビダツケ指揮ロンドンpo./ K.ベーム指揮ウィーンpo. / モーツァルト:交響曲25番K.183, 交響曲36番K.425「リンツ」	¥6,600	M	A7/6
1393-011	DECCA	LXT 5145	J.カッチェン(pf)P.マーク指揮ロンドン新so. / モーツァルト:Pf協奏曲13番K.415, Pf協奏曲20番K.466	¥6,600	M	A7
1393-012	La Voix De Son Maître	FALP 112	A.ルービンシュタイン(pf)V.ゴルシュマン指揮セントルイスso. / ファリャ:スペインの庭の夜, モーツァルト:Pf協奏曲23番K.488	¥4,950	M	A7
1393-013n	MELODIYA	C10 07717	E.ヴィルサラーゼ(pf), L.ゴズマン指揮レニングラード室内o., B.ダヴィドヴィチ(pf/K.365) / モーツァルト:Pf協奏曲11番K.413, 2Pf協奏曲K.365	¥8,800	S	A8/7
1393-014n	MELODIYA	C 01381	G.ロジェストヴェンスキー指揮ソビエト放送so. / プロコフィエフ:バレエ音楽「シンデレラ」Op.87(ハイライト)	¥1,100	S	A8/6
1393-015n	MELODIYA	C10 04973	I.スモリナ(pf) / リスト:6つの超絶技巧練習曲, ペトルカルのソネット123番, メフィスト・ワルツ	¥5,500	S	A8/7
1393-016	MELODIYA	C 0485	D.オイストラフ(vn)L.オポーリン(pf) / ベートーヴェン:Vnソナタ9番Op.47「クロイツェル」	¥2,200	S	B7
1393-016tb	MELODIYA	C 0485	D.オイストラフ(vn)L.オポーリン(pf) / ベートーヴェン:Vnソナタ9番Op.47「クロイツェル」	¥2,200	S	A7
1393-017n	MELODIYA	C 0233	G.ロジェストヴェンスキー指揮レニングラードpo. / チャイコフスキー:フランチェスカ・ダ・リミニOp.32, ハチャトゥリアン:ガイーヌ(抜粋8曲)	¥2,200	S	A7/6
1393-018n	MELODIYA	C 04513	S.ネイガウス(pf) / モスクワ・ライブ1972/ ショパン:幻想ポロネーズ, 夜想曲5番&8番, 舟歌, マズルカ34番, 41番, 49番, バラード4番	¥6,600	S	A8/7

1393-019t	MELODIYA	C 01659	G.ロジェストヴェンスキー指揮ボリショイ劇場o.メンバー / ビゼー(シチエドリン版):カルメン組曲	¥6,600	S	A 8/7
1393-020t	MELODIYA	C 0529/C 0567/ CM 0225	E.スヴェトラノフ指揮ソビエト国立so. L.アフディエフ(ms)A.グリゴリエフ(t) / スクリャービン:交響曲第1番Op.26「芸術讃歌」, 交響曲第2番Op.29, 交響曲第3番Op.43「神聖な詩」	¥8,250	S	A 8/6
1393-021t	MELODIYA	CM 03245	M.シヨスタコーヴィチ指揮モスクワ放送so. M.チェルニャホフスキー(vn)A.コルネイエフ(f) / シヨスタコーヴィチ:交響曲15番Op.141	¥6,600	S	A8/7
1393-022n	MELODIYA	CM 02959	K.コンドラシン指揮モスクワpo., G.グロードベルク(org)ボリショイ劇場Ens./ ロジェストヴェンスキー指揮レニングラードpo./ ハチャトゥリアン:交響曲3番Op.67「交響詩曲」, ガイーヌ(抜粋8曲)	¥4,950	S	A7
1393-023n	MELODIYA	CM 01989	S.リヒテル(pf)L.マゼール指揮パリオ. / ブラームス:Pf協奏曲2番Op.83	¥3,850	S	A8/7
1393-024t	MELODIYA	C 01417	N.ペトロフ(pf)G.ロジェストヴェンスキー指揮ソビエト放送o. / ラフマニノフ:Pf協奏曲4番Op.40, プロコフィエフ:Pf協奏曲3番Op.26	¥3,300	S	A8/7
1393-025p	MELODIYA	C10 05435	A.チェルカソフ(pf) / チャイコフスキー:四季Op.37a	¥4,400	S	A8/7
1393-026p	MELODIYA	C 10 05399	S.ドレンスキー(pf) / ショパン:マズルカ集-1(16曲)/ 2番, 5&6番, 13~15番, 18番, 21~23番, 22&23番, 25番, 27番, 35番, 40番, 45番, 47番	¥5,500	S	A7
1393-027p	MELODIYA	Д 06295-8	E.ムラヴィンスキー指揮レニングラードpo/ D.シヨスタコーヴィチ(pf)A.ガウク指揮ソビエト放送o. / シヨスタコーヴィチ:交響曲11番Op.103「1905年」, Pf協奏曲2番Op.101	¥4,400	M	A8/7
1393-028p	MELODIYA	Д 018795	M.グリーンベルグ(pf) / ベートーヴェン:/Pfソナタ集/8番Op.13「悲愴」, 14番Op.27-2「月光」, 23番Op.57「熱情」	¥4,950	M	A7
1393-029p	MELODIYA	Д 03810	M.ロストロポーヴィチ(vc)K.ザンデルリング指揮レニングラードpo. / プロコフィエフ:交響的協奏曲Op.125	¥1,650	M	A7
1393-030p	MELODIYA	Д 031235	E.フォイアーマン(vc)M.サージエント指揮ロンドンpo, G.ムーア(pf)/ ハイドン:Vc協奏曲2番Op.101, シューベルト:アルペッジョーネ・ソナタ D.821	¥8,800	M	A7
1393-031p	MELODIYA	C10 06669	V.フェイスギン(vc)V.ポルトラツキー(pf) / ロシアVc作品集Vol.1/ ルビンシテイン:Vcソナタ1番Op.18, ラフマニノフ:2つの小品Op.2	¥4,950	S	A8/7
1393-032t	MELODIYA	C 0869	E.スヴェトラノフ指揮ソビエト放送o./cho. / ドビュッシー:夜想曲(全3曲), ラヴェル:亡き王女の為のパヴァーヌ, ボレロ	¥2,750	S	A 8/7
1393-033t	MELODIYA	C10 10923	V.エレシコ(pf)G.ロジェストヴェンスキー, V.フェドセーエフ(指揮)モスクワ放送o. / グリーク:Pf協奏曲Op.16, ラヴェル:Pf協奏曲	¥3,300	S	A 7
1393-034t	MELODIYA	C10 06891	E.ギレリス(pf) / グリーク:抒情小曲集(全10巻/66曲)~抜粋20曲	¥2,750	S	A8/7
1393-035n	MELODIYA	CM 04207	H.シエリング(vn)G.ロジェストヴェンスキー指揮ロンドンso. / シベリウス:Vn協奏曲Op.47, プロコフィエフ:Vn協奏曲2番Op.63	¥3,300	S	A8/7
1393-036n	MELODIYA	C10 06637	F.ドルジーニン(va)M.ムンチャン(pf) / シヨスタコーヴィチ:VaソナタOp.147	¥8,800	S	B8/7
1393-037n	MELODIYA	CM 03121	S.リヒテル(pf)L.マゼール(指揮)/パリオ./ロンドンso / バルトーク:Pf協奏曲2番, プロコフィエフ:Pf協奏曲5番Op.55	¥3,300	S	A7
1393-037nb	MELODIYA	CM 03121	S.リヒテル(pf)L.マゼール(指揮)/パリオ./ロンドンso / バルトーク:Pf協奏曲2番, プロコフィエフ:Pf協奏曲5番Op.55	¥3,300	S	A7

1393-038n	MELODIYA	C10 06261	N.グートマン(vc)L.マルキス指揮モスクワpo. / ヴィヴァルディ:Vc協奏曲Rv.400, シューベルト:小協奏曲D.345, ハイドン:Vc協奏曲1番Hob.VIIb-1	¥4,400	S	A8/7
1393-039n	MELODIYA	C 0337	G.ロジェストヴェンスキー指揮ソビエト放送o. / プロコフィエフ:交響曲2番Op.40	¥2,750	S	A8/7
1393-039nb	MELODIYA	C 0337	G.ロジェストヴェンスキー指揮ソビエト放送o. / プロコフィエフ:交響曲2番Op.40	¥1,650	S	A8/7
1393-040n	MELODIYA	Д 027777	W.フルトヴェングラー指揮ベルリンpo. / ベートーヴェン:交響曲6番Op.68「田園」	¥4,950	M	A8/7
1393-041	RCA	SB 2003	P.モントゥー指揮ロンドンso. H.マグワイア(vn) / リムスキー・コルサコフ:交響組曲「シェヘラザード」Op.35	¥8,800	S	A7/6
1393-042	RCA	SB 2005	P.モントゥー指揮パリ音楽院o. / ストラヴィンスキー:春の祭典	¥33,000	S	A7
1393-043	RCA	640 831	P.モントゥー(指揮)ウィーンpo./ ロンドンso / ベートーヴェン:交響曲8番Op.93, ブラームス:ハイドン変奏曲Op.56a	¥3,850	S	A8/7
1393-044	RCA	640 746	P.モントゥー指揮ウィーンpo. / ブラームス:交響曲2番Op.73	¥7,700	S	A7
1393-045	RCA	640 809	P.モントゥー指揮ロンドンso. / シベリウス:交響曲2番Op.43	¥8,800	S	A8/7
1393-046	RCA	640 593	P.モントゥー指揮ボストンso. / チャイコフスキー:交響曲4番Op.36	¥8,800	S	A8/7
1393-047	RCA	640 545	P.モントゥー指揮ボストンso. J.スタリヤーノ(hr) / チャイコフスキー:交響曲5番Op.64	¥7,700	S	A7
1393-048	RCA	640 700	P.モントゥー指揮ロンドンso. / ドヴォルザーク:交響曲7番Op.70	¥7,700	S	A8/7
1393-049	RCA	645 009	C.ミュンシュ指揮ボストンso. / チャイコフスキー:交響曲6番Op.74「悲愴」	¥5,500	S	A8/7
1393-050	RCA	640 825	C.ミュンシュ指揮ボストンso. / チャイコフスキー:弦楽セレナーデOp.48	¥4,950	S	A7
1393-051	RCA	645 004	C.ミュンシュ指揮ボストンso. J.スタリヤーノ(hr) / ラヴェル:管弦楽作品集/ボレロ, 亡き王女のためのパヴァーヌ, ラ・ヴァルス	¥4,950	S	A8/7
1393-052	RCA	640 739	C.ミュンシュ指揮ボストンso. / ショーソン:交響曲 Op.20, フランク:交響詩「のろわれた狩人」	¥4,950	S	A7
1393-053	RCA	840 500	C.ミュンシュ指揮ボストンso. / ベルリオーズ:序曲集/ ローマの謝肉祭, ベアトリスとベネディクト, 海賊, ベンヴェヌート・チェツリーニ, トロイアの人びと	¥3,850	S	A8/7
1393-054p	RCA	SOR 640 725	C.ミュンシュ指揮ボストンso. / ミヨー:プロヴァンス組曲Op.152c, バレエ音楽「世界の創造」Op.81	¥4,950	S	A7
1393-055	RCA	650 013	C.ミュンシュ指揮フランス国立放送o. / ドビュッシー:映像～「イベリア」(全3曲), アルベニス:イベリア(全5曲)	¥3,300	S	A8/7
1393-056	RCA	640 687	F.ライナー指揮シカゴso. / シューベルト:交響曲8番D.759「未完成」, 交響曲5番D.485	¥3,850	S	A7
1393-057	RCA	640 784	F.ライナー指揮シカゴso. / レスピーギ:交響詩「ローマの松」, 交響詩「ローマの噴水」	¥7,700	S	A8/7


1393-058	RCA	SOR 640 560	H.v.カラヤン指揮ウィーンpo. / ベートーヴェン:交響曲7番Op.92	¥7,700	S	A8/7
1393-058b	RCA	SOR 640 560	H.v.カラヤン指揮ウィーンpo. / ベートーヴェン:交響曲7番Op.92	¥7,700	S	A8/7
1393-059	RCA	445 002	M.グールド指揮モートン・グールドo. H.シャピロ(vc)A.ゴルツァー(e-hr) / シベリウス:管弦楽曲集/ フィンランディア, トウオネラの白鳥, 悲しいワルツ, ポホヨラの娘, レンミンカイネンの帰郷	¥4,400	S	A7
1393-060	RCA	440 653	C.ガーハート指揮ロイヤルpo. / J.C.バッハ:交響曲Op.18-2, ヴィヴァルディ:2Vn協奏曲Rv.522, ハイドン:交響曲100番「軍隊」Hob.I:100	¥3,300	S	A7
1393-060b	RCA	440 653	C.ガーハート指揮ロイヤルpo. / J.C.バッハ:交響曲Op.18-2, ヴィヴァルディ:2Vn協奏曲Rv.522, ハイドン:交響曲100番「軍隊」Hob.I:100	¥3,300	S	A8/7
1393-061	RCA	SOR 640 712	J.ハイフェッツ(vn)G.ピアティゴルスキー(vc)A.ウオーレンステイン指揮RCAビクターso. / ブラームス:Vn・Vcの二重協奏曲Op.102	¥4,950	S	A8/7
1393-062	RCA	640 566	J.ハイフェッツ(vn)C.ミュンシュ指揮ボストンso. / メンデルスゾーン:Vn協奏曲Op.64, プロコフィエフ:Vn協奏曲2番Op.63	¥5,500	S	A8/7
1393-062b	RCA	640 566	J.ハイフェッツ(vn)C.ミュンシュ指揮ボストンso. / メンデルスゾーン:Vn協奏曲Op.64, プロコフィエフ:Vn協奏曲2番Op.63	¥3,300	S	A8/7
1393-063	RCA	SB 2149	S.リヒテル(pf)C.ミュンシュ指揮ボストンso. / ベートーヴェン:Pf協奏曲1番, Pfソナタ22番	¥19,800	S	A7
1393-064	RCA	640 548	V.クライバーン(pf)K.コンドラシン指揮シンフォニー・オブ・シ・エア / ラフマニノフ:Pf協奏曲3番Op.30	¥6,600	S	A7


1393-001	27500 円 (税込)
	フランス DGG 30 455 モノラル -: キズ情報参照 7: 番号書き込み 7インチ (45 回転)
チェロ小品集 / シューベルト: アヴェ・マリア, シューマン: 夕暮れの歌, グルック: 精霊の踊り, グラツィオーリ: アダージョ E. マイナルディ (vc) M. ラウハイゼン (pf)	
レーベルタイプ: 【フランスでの7"のテスト盤】- 白外溝・テスト, 外周にカマボコ, ナイフエッジ ジャケット: 【フランスでの7"のテスト盤】- 紙内袋, 表面にテクニカル・リポートがテープ留め, トピックス: 【初のテスト盤!】-1955 年またはそれ以前のドイツでのモノラル録音, 録音詳細不明, 1955 年頃 Deutsche Grammophon Gesellschaft GmbH によりコピーライト登録・同年 DGG:30 455 EPL(チューリップ・ドーナツ・45 回転)にて初リリース, フランスでは同年仏 キズ情報: センターオプション附属, 紙内袋(テスト盤のため正規ジャケットは無い), テクニカルリポート付き, 蓋付き外袋入り 商品説明: ファンにとって絶対に見逃せないマイナルディのテスト盤が初入荷。気品高い芸風を持つことから「チェロの貴族」の異名を持つマイナルディ。フルニエとは異なる品の良さで力強さで、大きな人気を博すチェリストである。特に2回録音したバッハ:無伴奏は非常に評価が高い。当盤もマイナルディの特徴であるゆったりしたテンポで奏でる歌謡性の強い演奏である。シンプルに歌い上げる演奏はいつ聴いても素晴らしく、飽きの来ない「永遠の名演」と呼ぶに相応しい内容と断言できる。1956 年に3曲が追加されて12インチで発売されるが、7インチ45回転盤の音質は次元が異なる!当然ながら次回以降の入荷は保証できないため、一期一会であることを御理解いただきたい。	

1393-002	8800 円 (税込)
	ベルギー ALPHA CL 2001 モノラル A 7 10 インチ
J.N. アマル: 交響曲 Op.2-4 ルクー: アダージョ Op.3 G. ルメール指揮リエージュ・ソリスト A. コック (vn)	
レーベルタイプ: 【ベルギーでのオリジナル】- 白青輪地図段付, 12時に Made in France, グルー ジャケット: 【ベルギーでのオリジナル】- 文字デザイン・両面半ツヤペラ, ㊄㊄なし, ジャケット トピックス: 【初入荷の希少タイトル!】-1959-60 年頃ベルギーでのモノラル録音, 録音詳細不明, 1960 年頃 Disques Alpha Brussels にてコピーライト登録・同年 ALPHA:CL 2001(当装丁)にて初リリース, これはベルギーでの初年度リリース分オリジナル, 当社初入荷の希少タイトル! キズ情報: 商品説明: リエージュ・ソリスト (Les Solistes De Liège) はベルギー・リエージュで1954年にジェリー・ルメールとコンマスのアンリ・コックによって設立された室内楽アンサンブルで、1969年に息子のエマニュエル・コックによって継承されている。アンサンブルはフランス、ベルルス、カナダ(モントリオール万国博覧会)で公演を行った。これまでに、マリー=クレール・アラン、モリス・アンドレ、ジャン=ピエール・ランパル、ジュール・バスタン、ジャン=ジャック・グリユンヴァルト、ミハエル・シュナイダー、イアン・ウォラックといったソリストと共演している。アンリ=エマニュエル・コックは50年以上にわたり、リエージュとベルギーの音楽界を活気づけ、リエージュ・ヴァイオリン学校の名声をもベルギー国外にまで広める一翼を担った。指揮者のジェリー・ルメール(1926-2013)はベルギー・Guignies 生まれ。ブリュッセル南部の古都、トウルネーにてリエージュ・ソリストを発足した。A面のジャン=ノエル	


1393-003	4950 円 (税込)
	フランス Orchestre de Chambre Bernard Thomas BT 1 ステレオ A 7
バッハ: Vn・Ob 協奏曲 BWV.1060 ヴィヴァルディ: 2Vn 協奏曲 RV.522 ルクレール: Vn 協奏曲 Op.7-4 B. トマ指揮ベルナル・トマ室内 o. J.J. カントロフ, J.C. デュラン, J.C. ブーペル, R. ジャームセル (vn) P. ペリシエ (ob)	
レーベルタイプ: 【フランスでのオリジナル】- 赤/銀狭内溝, グルーヴガード厚, 4時に Made in ジャケット: 【フランスでのオリジナル】- 両面コートペラ, ㊄㊄なし, ジャケ裏年号: なし(最古) トピックス: 【初入荷の希少盤!】-1980 年頃パリでのステレオ録音, 録音詳細不明, 1980 年頃ブライヴェート・レーベルである Orchestre de Chambre Bernard Thomas によりコピーライト登録・同年 Orchestre de Chambre Bernard Thomas:BT 1(当装丁)にて初リリース, これは初 キズ情報: B 面4時に微かに数回断続する 2.5cm のヘアライン→7 商品説明: ベルナル・トマ(1937-2025)はフランス・ヌーヴェル=アキテーヌ地域圏、オート=ヴィエンヌ県・リモージュ生まれの指揮者。イーゴリ・マルケヴィチ、ウジェーヌ・ピゴとジャン・フルネに指揮法を学ぶ。1967年にベルナル・トマ管弦楽団を結成し、以後、そのオーケストラを拠点に指揮活動を行う。1974年にはフランス国会図書館でジョセフ・フローニュ・シュヴァリエ・ド・サン=ジョルジュのヴァイオリン協奏曲を発見し、ジャン=ジャック・カントロフを独奏に立てて蘇演している。ピアリッツ音楽祭、エボ=修道院(サルト)、パリ室内楽フェスティバルの創始者であり、ベジエ音楽祭の元芸術監督、欧州連合合唱団音楽評議会の元会長であった。クラシック音楽を耳にする機会が少ない場所にクラシック音楽を届けることに情熱を注ぐ彼は、「オフサイト」コンサートの先駆者である。オーケストラ結成当初から、工場や刑務所で演奏してきた。ベルナル・トマ管弦楽団はベルナル・ト	

1393-004	13200 円 (税込)
	英国 ODEON PALP 1747 モノラル A: 金シール 7
バッハ: W.F. バッハの音楽帖(抜粋13曲) イタリア風のアリアと変奏 BWV.989 R. テューレック (pf)	
レーベルタイプ: 【英国での輸出仕様のオリジナル】- 黒/銀 ODEON, グルーヴガード厚, 6時に ジャケット: 【英国でのオリジナル】- 三方折返表コート厚紙, ㊄㊄1960, ジャケ裏年号: なし(最 トピックス: 1959 年6月ロンドンでのモノラル録音と思われる, 録音詳細不明, 1960 年 E.M.I.Records Limited (Controlled by Electric & Musical Industries Limited.) Hayes・Middlesex・England によりコピーライト登録・同年 His Master's Voice:ALP 1747(金大 キズ情報: 商品説明: 1980 年代には本邦で無名だったロザリン・テューレックも、今ではすっかり人気のバッハ弾きとなった。1914 年アメリカ生まれ、父親はトルコ人、本人は認めていないが、グールドは彼女の演奏を参考にしたという。聴き比べると分かるが、奇才と言われるグールドはテューレックの落とし子なのである。当盤はテューレックが1960年にHMVから発売した「An Introduction To Bach」。テューレックはバッハのピアノ教則本を少なくとも3冊上梓していて、その手法に則った録音と思われる。1981年にCBSで同一タイトルの同様のLPを再録音しているので取り違えに注意。これが最初の「An Introduction To Bach」である。近年になりバッハ弾きのピアニストとして世界的に認知されており、NHKでは2025年1月に「バッハのスペシャリスト/ロザリン・テューレック」と題した番組が放送された。30年前は知る人ぞ知るピアニストだったが、本物は時代を超えるという一つの証左なのだろう。	


1393-005	7700 円 (税込)
	フランス Madame Malnory- Marseillac MLGD 05 モノラル A 8/7
<p>歌曲・アリア集 / フォーレ、デュパルク マスネ、バッハ、ヘンデル</p>	
<p>F.M. マルセイヤック (s) J. マルセイヤック (pf)</p>	
<p>レーベルタイプ:【フランスでの LP オリジナル】 - 水色 / 黒, グルーヴガード厚, 6 時に口 Pathé</p>	
<p>ジャケット:【フランスでの LP オリジナル】 - 両 面コートペラ, ジャケ裏年号: なし, © 1983 © な</p>	
<p>トピックス:【初入荷の希少タイトル!】-1929- 1937 年パリでの SP 録音, 録音詳細不明, それぞ れの SP で初リリースされたと思われる, 1983 年 LP に復刻され Privateレーベル (Madame Malnory-Marseillac):MLGD 05 (当装丁) にて LP が初リリースされた, これはフランスでの LP の初</p>	
<p>キズ情報:</p>	
<p>商品説明: ファニー・マルノリー=マルセイヤック (1887-1979) はフランスのソプラノ歌手。芸名はマ ダム・マルノリー=マルセイヤックだった。スコラ カントルムと音楽院コンサート協会管弦楽団のソ リストを務め、ヴァンサン・ダンディ作曲の『鐘 の歌』のレノール役を頻繁に演じた。彼女は、マ リー=ルイズ・アソとアルレット・タスキ (1925 年) からなるトリオ「パリ・ヴォーカル・トリオ」 を結成した。またピアニストのデオダ・ド・セヴラック と共演するコンサートにも出演した。サル・ガ ヴォーで、J.S. バッハのクリスマス・オラトリオ (BWV 248) を、モノーが「ラ・カンターテ」と名 付けたピックアップ・アンサンブルと共に演奏し た。彼らは、フランスのソプラノ歌手マルノリー= マルセイヤック夫人やスイスのテノール歌手ユー グ・キューネーなど、最高の音楽家やソリストを 雇った。コンサートの観客は熱烈に反応し、雑 誌は彼らを絶賛した。ファニー・マルノリーは 1914 年に、オルガン奏者、ピアニスト (そしてチ</p>	


1393-006	4950 円 (税込)
	フランス PHILIPS 844 824 BY ステレオ A 7
<p>Jazz Sébastien Bach (全 13 曲) / 平均律~前奏曲, フーガ G 線上のアリア, カノン, インヴェンション 他</p>	
<p>スウィングル・シンガーズ</p>	
<p>レーベルタイプ:【フランスでのステレオ・再版】 黒白 / 銀 3 本線センター白, 枠内 9 時に GU, 枠</p>	
<p>ジャケット:【フランスでのステレオ・再版】折返 両面紙ペラ, © なし, ジャケ裏年号: なし</p>	
<p>トピックス:1963 年パリでのモノラル / ステレオ 録音, 録音技師: Pierre Fatosme, プロデュー サー: 不明, 1964 年 Société Phonographique Française Polydor S.A. によりコピーライト登録・ 同年仏 PHILIPS からモノラル:B 77921L / ステ レオ:840 519 BY (緑白 / 黒 Hi-Fi-Stereo 内溝レー キズ情報:</p>	
<p>商品説明: スウィングル・シンガーズは日本でも かなり名前が知られていて、アルバムのセールス も好調だったと思う。ただ、それはあくまでも日 本盤のこと、フィリップスのオリジナルで聴いて いた人は少ないだろう。このエンボス加工された ジャケットの、フランス・フィリップス盤こそが本 物だ。ステレオは特に素晴らしく良い音がする。 小気味良いベースとドラムスも、見事な脇役を演 じている。これが彼らのデビューアルバムとなっ た有名な「Jazz Sebastian Bach」。バッハの器 楽曲を歌ってアレンジするスタイルはここから始 まった。モノラルとステレオの 2 種存在する。 Hi-Fi-Stereo レーベルが初出だが希少! このア ルバムが彼等のデビュー LP となった。この LP は 1963 年のシャルル・クロス・アカデミー国際レコ ード大賞を受賞した。スウィングル・シンガーズは すぐに国際的な成功を収めた。グラミー賞を 4 回 受賞、3 回ノミネート、アカデミー・シャルル・ク ロからディスク・グランプリを受賞、ホワイトハウ</p>	


1393-007	6600 円 (税込)
	フランス PHILIPS 641 405 AXL モノラル A: 軽度の汚れ 7
<p>バッハ: イタリヤ協奏曲 BWV.971 トッカータとフーガ BWV.914 パルティータ 2 番 BWV.826 R. カサドシュ (pf)</p>	
<p>レーベルタイプ:【フランスでのオリジナル】 - 緑 白 / 黒 Discothèque Classique 外 溝, ▶</p>	
<p>ジャケット:【フランスでのオリジナル】 - イラス トデザイン・折返両面紙ペラ, 11 時に, ▶</p>	
<p>トピックス:【入荷の少ない珍品!】-1958 年 5 月 9 日パリにてモノラル / ステレオ録音, 1960 年 Columbia Masterworks によりコピーライト登録・ 同年米 COLUMBIA:ML 5446/MS 6120 (6eyes レー ベル・厚紙ジャケット入り) にて初リリース, フラン スでは 1959 年頃仏 PHILIPS:641 405 AXL (当装 キズ情報:</p>	
<p>商品説明: カサドシュとバッハは結び付かないが 実は 1958 年 5 月にパリで当録音があった。これ まで欧州盤の入荷がなかった為、殆ど知られてい ない録音であった。米国では 1960 年米 COLUMBIA からリリースされている。フランスでは 仏 PHILIPS から発売された当盤がオリジナルと思 われる。入荷の少ない珍品である。パリ録音だ が音源保有は米 COLUMBIA であり、米 COLUMBIA からは通常の通りモノラル / ステレオで発売され たが、欧州ではフランスでモノラルのみ当番号で ひっそりと発売されたようである。このレーベル は古いモノラル録音の再販にも使われるレーベル である。ソロ曲が 3 曲だけだが、カサドシュの弾 くバッハがわかる。聴いたところ悪くない演奏で ある。しかしカサドシュらしさがあるかと問われ ると微妙である。確かにカサドシュらしい演奏で ある - とは断定できない何かがある。それはカ サドシュはやはりフランス作品やモーツァルト弾 きとして定着してきたものがあるからだろう。し</p>	


1393-008	9900 円 (税込)
	英国 DECCA LXT 5123 モノラル A 7
<p>モーツァルト: Pf 協奏曲 27 番 K.595 Pf ソナタ 11 番 K.331</p>	
<p>W. バックハウス (pf) K. ベーム指揮ウィーン po.</p>	
<p>レーベルタイプ:【英国でのモノラル第 3 版】 - 銀外溝, 12 時に Made in England, 厚手 (グルー</p>	
<p>ジャケット:【英国でのモノラル第 2 版】 - ラウ ンド折返両面コートペラ "aka scalloped" (ホタテ</p>	
<p>トピックス:1955 年 5 月 30-31 日・ウィーン・レドウ テンザール (the Redoutensaal, Vienna) にてモ ノラル / ステレオ録音, 録音技師: James Brown, プロデューサー: Peter Andry, 1955 年 The Decca Record Company Limited. London によりコピー ライト登録・同年 DECCA からモノラル:LXT キズ情報:</p>	
<p>商品説明: この録音のステレオ SXL は超高価な事 で知られている。モノラルも驚くほど音質が良い。 決してステレオの代用品ではない、モノラルの魅 力溢れる録音。ステレオより数年早く発売された ようだ。27 番の決定盤として有名であると同時に、 ベームの指揮も文句のつけようのない見事さ。そ してソロ・ピアノの宝石のような音色は、これ以 上ないと思われるほどの快さ。英 / 仏 / 独の 3 カ 国から発売されており、それぞれ国の特徴が出る。 1955 年ウィーンで録音されたバックハウス唯一の モーツァルト協奏曲。曲はモーツァルト最後の Pf 協奏曲で亡くなる年の 1791 年に書かれた。クラ リネット協奏曲 K.622 もこの年に書かれている。 Pf 協奏曲 27 番は変ロ長調で始まる明るい曲調で はあるが、最晩年の作品に共通する音調を示して おり、深みのある名作である。バックハウスが 1 曲だけ選んだモーツァルトの Pf 協奏曲がこの曲 であった。ベートーヴェン弾きであり、男性的ピ アニストの代表格であるバックハウスのモーツ</p>	


1393-009	9900 円 (税込)
	英国 DECCA LXT 2542 モノラル A: 美品 7: 奇跡的盤質
モーツァルト: ディヴェルティメント 17 番 K.334	
ウィーン八重奏団メンバー: W. ボスコフスキー, P. マタイス (vn) G. プライテンバッハ (va) N. ヒューブナー (vc) J. クルンツ (cb) J. ヴェレヴァ, O. ニツチュ (hr)	
レーベルタイプ:【英国でのオリジナル】- 金ツヤ内溝, 12 時に Made in England, フラット重量,	
ジャケット【英国でのオリジナル】- 共通デザイン折返両面紙ペラ, ジャケ裏年号: 10/50 (英国最	
トピックス: 1950 年ウィーンでのモノラル録音, 録音技師: 不明, プロデューサー: Christopher Raeburn, 英国では 1951 年 The Decca Record Company Limited. London にてコピーライト登録・同年 DECCA:LXT 2542 (当装丁) にて初リリース, フランスでは 1952 年頃 フランス DECCA:LXT	
キズ情報: A 面 6 時に無音軽スレ	
商品説明: モーツァルトがパリ訪問を含む旅からザルツブルグに戻った 1779 年、あらゆる機会音楽の頂点といえる傑作が完成した。軽やかで快活な音楽と言うだけでなく、影の部分までもが輝く。ウィーン八重奏団は音一音がクリアで、たつぷりと響かせる弦を中心とした、安定感のある落ち着いた演奏。第 1Vn が作品の中で重要な役割を果たし、音楽を常にリードしており、最初は Vn 協奏曲かと思うほど。K.334 は指定通り弦楽四重奏 +2 台ホルン + コントラバスを含む五弦 2 管の 7 人という、これまでにないような最小人数で演奏している。K.334 は全部で 20 数曲あるディヴェルティメントの中で最も有名な曲。この曲を名高いものにしてるのが、第 3 楽章のメヌエットで「モーツァルトのメヌエット」と呼ばれ、ヴァイオリン独奏や、弦の重奏などで単独でもしばしば演奏される。1950 年代までは室内オーケストラでもっと大きな編成で演奏されることが多かった。これを聴くと K.334 は完全な室内楽であることが	

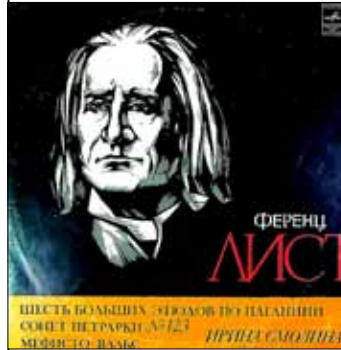
1393-010	6600 円 (税込)
	英国 DECCA LXT 2558 モノラル A: 美品 7/6
モーツァルト: 交響曲 25 番 K.183 交響曲 36 番 K.425「リンツ」	
S. チェリビダッケ指揮ロンドン po. (25 番) K. ベーム指揮ウィーン po. (36 番)	
レーベルタイプ:【英国でのオリジナル】- 金ツヤ内溝, フラット重量, スタンパー/マトリク	
ジャケット【英国でのオリジナル】- 共通デザイン折返両面紙ペラ, © なし, ジャケ裏年	
トピックス: 25 番 (チェリビダッケ): 1948 年 4 月 9 日・12 月 21 日ロンドンでのモノラル録音, 36 番 (ベーム): 1950 年 9 月ウィーンでのモノラル録音, 録音詳細不明, 1950 年 The Decca Record Company Limited. London にてコピーライト登録・同年 DECCA:LXT 2558 (当装丁) にて初リリース	
キズ情報: A 面 3 時に極小~微かに 15 回程出るスレ, 2/4/9 時に微か~極小で数回出るスレ, B 面 4 時に微かに 20 回程出るスレ	
商品説明: チェリビダッケの 25 番が 1948 年、ベームの 36 番が 1950 年という古い録音同士のカップリング。場所はロンドンとウィーン。指揮者もまったく異なる 2 曲。目玉は録音嫌いで有名なチェリビダッケ 36 歳の正規録音。第 1・2 楽章は 4 月 9 日の録音に満足出来なかった本人希望で 12 月 21 日に再度録音。12 月の方で OK を出したと言う。1948 年とは信じ難い見事な造形美がある。当時ベームの方が有名だったが、両者の違いが面白い。チェリビダッケ恐るべし。ベームの最初期 DECCA 録音でもある。ベームはこれ以前に EMI 系に SP で第 25 番・35 番・41 番の 3 曲の録音があるらしい。チェリビダッケのモーツァルトは非常に少ないので希少! セルジウ・チェリビダッケ (1912-1996) は、作曲家に生まれ、ドイツで活躍した指揮者、作曲家。パリに留学したが、1936 年にベルリンに移り、フリードリヒ・ヴィルヘルム大学やベルリン音楽大学で音楽、数学、哲学などを学んだ。戦時中もベルリンに留まり、	


1393-011	6600 円 (税込)
	英国 DECCA LXT 5145 モノラル A 7
モーツァルト: Pf 協奏曲 13 番 K.415 Pf 協奏曲 20 番 K.466	
J. カツェン (pf) P. マーク指揮ロンドン新 so.	
レーベルタイプ:【英国でのオリジナル】- 銀ツヤ外溝, 12 時に Made in England, フラット重量,	
ジャケット:【英国でのオリジナル】- ラウンド折返両面コート・Scalloped' Flipback (ホタテ貝	
トピックス: 1955 年ロンドンでのモノラル録音, 録音詳細不明, 英国では 1956 年 1 月 The Decca Record Company Limited. London によりコピーライト登録・同年 DECCA:LXT 5145 (当装丁) で初リリース, 1958 年分からツヤなし外溝→1959 年分から中溝レーベル→1961 年 ACL 143 に番号変	
キズ情報: A 面 11 時に微かに数回感じる程度の 3cm の軽スレ→7	
商品説明: カツェンの初回モノラル録音。指揮はマーク。'55 年モノラル録音のオリジナル。ミュンヒンガーとの 2 回目録音に比べ、こちらの録音はシリアスで、少しピリピリした感じが伝わってくる。録音事情の為にソロは少し遠くなるが、ピアノの音はとてふよよか、とろけそうな程こなれている。オケと混じり合う寸前の、一体となったモーツァルトがある。後にカツェンはブラームス・ソロ全集を録音するが、モーツァルト弾きとしても申し分ない。ジュリアス・カツェンは、アメリカのニュージャージー州に生まれ、11 歳でオーマンディ指揮のフィラデルフィア管とモーツァルトのピアノ協奏曲第 20 番でデビューして神童と言われたピアニスト。1947 年にデッカと契約を結び様々な録音を行ってきたが、モーツァルトの録音はあまり多くない。その中で「20 番」は、ハスキル以前の最高の演奏と呼ばれ、「すばらしい温かさや爽やかさを両立させた演奏」と高い評価を得ていた名演。早めのテンポで進める進行は指	

1393-012	4950 円 (税込)
	フランス La Voix De Son Maître FALP 112 モノラル A 7
ファリャ: スペインの夜の夜 モーツァルト: Pf 協奏曲 23 番 K.488	
A. ルービンシュタイン (pf) V. ゴルシュマン指揮セントルイス so.	
レーベルタイプ:【フランスでのオリジナル】- 銀大ニッパー内溝, 9 時に Disques Incassable, 3	
ジャケット:【フランスでのオリジナル】- 灰系イラストデザイン・両面紙ペラ, 1 時に口ニッパーマー	
トピックス: 1949 年 11 月 14 日米国セントルイス・Kiel Auditorium, St. Louis. での SP/モノラル録音, 「スペインの夜の夜」は 1950 年 SP が米 RCA:DM 1384 (12" x 3・アルバム入り + アンダラーサ (Side-6・ピアノソロ)) にて初リリース, モーツァルトは SP が発売されたか不明, 2 曲がカップ	
キズ情報:	
商品説明: ルービンシュタインの最初の SP/モノラル録音。どちらの曲も 3 回録音があり「スペインの夜の夜」は初回録音、モーツァルト: Pf 協奏曲 23 番は 2 回目録音となる。オケは V. ゴルシュマン指揮セントルイス so. である。少なくともルービンシュタインのソロはリビング・ステレオのそれより、ずっと澁刺としており健康的な印象。指が動き過ぎて困るといったくらいの躍動感があり、'60 年代の落ち着きより、むしろこちらの方がモーツァルトらしさを感じる。妙なルバートがなく、逆に疾走するが如く駆け抜けるソロ。ルービンシュタインも若い頃は意外に良かったんだとしみじみ感じるピアノ。SP 録音もあった。「スペインの夜の夜」は、ルービンシュタインには意外性の高い曲であるが、この曲は特にオケが重要になる作品であり、V. ゴルシュマン指揮セントルイス so. という職人的なオケは十分に聴き応えがある。ウラディミール・ゴルシュマン (1893-1972) はパリ生まれの指揮者。ロシア系ユダヤ人。ロシ	

1393-013n	8800 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA C10 07717 ステレオ A 8/7
モーツァルト: Pf 協奏曲 11 番 K.413 2Pf 協奏曲 K.365 E. ヴィルサラーゼ (pf) B. ダヴィドヴィチ (pf/K.365) L. ゴズマン指揮レニングラード室内 o.	
レーベルタイプ: 【ソ連でのオリジナル世代】- 青/黒 SL(シングルレター), グルーヴガード厚手, ジャケット: 【ソ連でのオリジナル世代】- 両面紙ペラ(モスクワ・オールユニオン), 露語表記のみ トピックス: 【入荷の少ない希少タイトル!】-1976年又はそれ以前のレニングラードでのステレオ録音, 1976年 C10 07717(当装丁)にて初リリース, 当社入荷 2 度目の希少タイトル, ヴィルサラーゼは MELODIYA で L. ゴズマン指揮レニングラード室内 o. と最初のモーツァルト 1 台用ピアノ協奏曲全 キズ情報:	
商品説明: エリソ・ヴィルサラーゼは、1942 年グルジア(ジョージア)のトビリシ出身。白系ロシア人ではないグルジア人。1962 年チャイコフスキー・コンクールで 3 位他数々のコンクールで入賞。ネイガウス没直後、モスクワ音楽院でザークに弟子入り。後に音楽院教授として多くのピアニストを輩出。MELODIYA に 1970 年頃からモーツァルトの主要曲を LP7 枚に録音している。女性的な微笑みがモーツァルトにとてもよく合い、溶け込んだピアノ。優しさと甘味のあるロシアきってのモーツァルト弾きである。MELODIYA で唯一モーツァルトの Pf 協奏曲一人全集録音を果たしたロシアきっての女性モーツァルト弾き! グルジアの女優と呼ばれている! 何とこれまでに 1 台用の Pf 協奏曲の全集録音と考えていたが、この LP が出てきたことで 2/3 台用 Pf 協奏曲も含めた完全な全集録音となっていたことが判明した。然も第 2 ソリストがペラ・ダヴィドヴィチという大物が出てきたことに更に驚いた。然も格上の大物に第 2 ソ	

1393-014n	1100 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA C 01381 ステレオ A 8/6
プロコフィエフ: バレエ音楽「シンデレラ」Op.87(ハイライト) G. ロジェストヴェンスキー指揮 ソビエト放送 so.	
レーベルタイプ: 【旧ソ連でのハイライトの第 2 版世代】- 青/銀 SL(シングルレター), 外周 1.5 ジャケット: 【旧ソ連でのハイライトの第 2 版世代】- 両面紙ペラ(モスクワ・アプレレフカ), Made in トピックス: 【ハイライト版・MELODIYA は初入荷の希少タイトル!】-1965 年モスクワでのモノラル/ステレオ全曲録音, 1966 年頃 MELODIYA にてコピーライต์登録・1966 年モノラル: D 017147-52(DL レーベル)で全曲盤が初リリース, 同 1966 年ステレオ: S 01165-70(DL レーベル)で全曲盤 キズ情報: B 面 12 時に極小〜微かに 19 回出るスレ→6 商品説明: プロコフィエフのバレエ音楽「シンデレラ」はチャイコフスキーの系譜を継ぐクラシック・バレエの伝統を意識した作品。抒情的なナンバーが多く、また古風な舞曲も複数含んでいる。交響曲などはグロテスクなイメージさえあるプロコフィエフだが「シンデレラ」は神秘的な世界観で老若男女が楽しめる作品。プロコフィエフの内面に有る美しさとロマンチックな情感を全面に出した叙情性が強く出た作品として知られている。しかも全体を通じてプロコフィエフ特有のモダニズム・野蠻性といったものも十分に保たれているから面白い。チャイコフスキーと大きく異なるのは、この点。プロコフィエフにまつわる過激さ、難解さをここまでうまく昇華させた作品は他にあるまい。また作曲家本人に天才と評されたロジェストヴェンスキーで聴けばまず文句はないだろう。今回ようやく MELODIYA のハイライト盤が入荷した。録音が極めて少なく選択肢が殆どないだけに、極め付きの 1 枚といえる。	

1393-015n	5500 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA C10 04973 ステレオ A 8/7
リスト: 6 つの超絶技巧練習曲 ペートルカのソネット 123 番 メフィスト・ワルツ I. スモリナ (pf)	
レーベルタイプ: 【旧ソ連でのオリジナル世代】- 青/銀 SL(シングルレター), 外周 2cm の盛りりあ ジャケット: 【旧ソ連でのオリジナル世代】- 両面紙ペラ(モスクワ・オールユニオン), 露語表記・ トピックス: 【入荷の少ない希少タイトル!】-1974年又はそれ以前の旧ソ連でのステレオ録音, 録音技師: A. Sinitsyn, プロデューサー: I. Chumakova, 1974 年 MELODIYA: C10 04973(当装丁)にて初リリース, 当社 3 度目の入荷の希少タイトル, イリーナ・スモリナの 3 枚しかない LP の一つ キズ情報:	
商品説明: イリーナ・スモリナ(1944-) はモスクワ音楽院のオボーリン・スクールの優等生と言われるイグムノフ派の女性ピアニスト! ヴォスクレセンスキーと同門である。しかし彼女は 1970 年の第 8 回コンクールで本選に残りなかった。スモリナはショパンより技巧的なリストの方が合っていたのだろう。録音も LP では僅か 3 枚のみ。他はシューマンとショパンである。とはいえ技巧バリバリのリスト弾きとは異なる資質を持つ。同じリストでも殆どメカニックの強さが感じられないエモーショナルなリスト弾きといえる。筋肉質ではない女性的優しさが漂うスタイル。このタイプが好みの方も必ずいるはず。少し危なげで応援したくなるような不完全さの美しさを持つ珍しいリスト弾き。スモリナは若手ながらこれまでに特長的であるロシアの若手とは少し異なり、マシンのような無機質なところがない。しっかりと音楽的な表現に務めていて、持っている高度な技巧は要所要所の必要な部分で披露するが、あく	

1393-016	2200 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA C 0485 ステレオ B:一部剥がれ, リングウェア 7
ベートーヴェン: Vn ソナタ 9 番 Op.47「クロイツェル」 D. オイストラフ (vn) L. オボーリン (pf)	
レーベルタイプ: 【旧ソ連でのステレオ・第 2 版世代】- ピンク/黒 SL(シングルレター), 外周 1.5cm ジャケット: 【旧ソ連でのステレオ・第 2 版世代】- 紙ペラ(モスクワ・アプレレフカ), ©なし, 露 トピックス: 1962 年 10 月パリ・サル・ブレイエルでのモノラル/ステレオ録音, Le Chant du Monde と MELODIYA との共同制作, PHILIPS はフランス以外の販売権を Le Chant du Monde から購入またはバーターしたものと思われる。一部解説では PHILIPS 録音とされているがそうではな キズ情報:	
商品説明: D. オイストラフ (vn) L. オボーリン (pf) のベートーヴェンは 5/9 番のみ 1940 年代の旧ロシア録音がある。後に 1962 年パリで新たに全曲録音(モノラル/ステレオ録音)した。Le Chant du Monde と MELODIYA との共同制作となった。当然 MELODIYA でも発売されており一部を除いて 1966 年にモノラル: D 010763-72 のバラ 5 枚で、ステレオは 1963 年に C 0477(1/2 番)/C 0479(3/4 番)/C 0481(5/6 番)/C 0483(7/8 番)/C 0485(9 番)/C 0487(10 番)のバラ 6 枚→1975 年頃 C10 06363(1/3/8 番), C10 06365(2/4/5 番), C10 06367(6/9 番), C10 06369(7/10 番)のバラ計 4 枚に変更されるという形でバラ発売された。西側ではフランスで Le Chant du Monde、オランダで PHILIPS という形をとる西側との共同製作だった。その為オイストラフ/オボーリンはしばしば「外貨稼ぎの出稼ぎ音楽家」と呼ばれる。その甲斐あってか西側ではベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全集と言えばこの録音が代表作	

1393-017n 2200 円 (税込)



旧ソ連
MELODIYA
C 0233
ステレオ
A
7/6

チャイコフスキー：
フランチェスカ・ダ・リミニ Op.32
ハチャトゥリアン：
ガイヌ（抜粋 8 曲）
G. ロジェストヴェンスキー指揮
レニングラード po.

レーベルタイプ：【旧ソ連でのステレオ・第 2 版
世代】 - 紺 / 銀 DL (ダブルレター), グルーヴガー

ジャケット：【旧ソ連でのステレオ・第 2 版世代】
- 両面紙ペラモスクワ・オールユニオン, ©なし,

トピックス：1960 年頃旧ソ連レニングラードでの
モノラル/ステレオ録音, 録音詳細不明,
MELODIYA=DGG の共同制作と思われる, 録音
技師:Harald Baudis (DGG 側), 旧ソ連では 1961
年 MELODIYA: Д 08939/ C 0233 (ブレ・ステレオ
レーベル) にて初リリース→ステレオは 1965 年頃

キズ情報:A 面 3 時に微かに~極小 24 回出るス
レ→6

商品説明:1961 年以前のレニングラードでの古い
録音で MELODIYA=DGG の共同制作と思われる。
DGG では 1961 年に 18 673 LPM /138 673 SLPM
で発売された。この時期はムラヴィンスキーがレ
ニングラード po. を伴ってロンドンとウィーンで
チャイコフスキーの交響曲を DGG 録音した時期と
重なる。こちらはレニングラードでの録音だが、
チャイコフスキーの交響曲録音と関連して DGG が
録音を行ったようである。当時 MELODIYA ではま
だステレオ録音の技術が無く、DGG の技師
Harald Baudis が器材とともにレニングラードま
で行ってステレオ録音を行ったようである。
MELODIYA 側としては技術協力を得た形となつたよ
うである。この録音直後の 1961 年に MELODIYA
はステレオ第 1 号 LP を発売しているの、この
共同制作が MELODIYA 側のステレオ計画に直接の
影響を及ぼした点は明らかである。選曲に関して
はなんとも言えないが、B 面の ハチャトゥリアン：
バレエ音楽「ガイヌ」からの 8 曲の抜粋に関し

1393-018n 6600 円 (税込)



旧ソ連
MELODIYA
C 04513
ステレオ
A
8/7

ショパン Pf 作品集/
幻想ポロネーズ, 夜想曲 5 番 & 8 番
舟歌, マズルカ 34 番, 41 番, 49 番
バラード 4 番
S. ネイガウス (pf)

レーベルタイプ：【旧ソ連での第 2 版世代】 - 青
/ 銀 SL (シングルレター), 外周 1.5cm の盛上りあり,

ジャケット【旧ソ連での第 2 版世代】- 紙ペラ (モ
スクワ・アプレレフカ), ©なし, 露語表記・国内

トピックス：【入荷の少ない希少タイトル】 -1972
年 10 月 9-10 日モスクワ音楽院大ホールにてステ
レオ・ライブ録音, 録音技師:Valentin Scoblo,
プロデューサー:Valentin Scoblo (兼任), 1973
年 MELODIYA:C 04513 (DL レーベル世代) にて初リ
リース→ 1976 年頃 SL レーベル世代に変更, DL

キズ情報:

商品説明:ショパン・リサイタルでのソロで小品 8
曲。スタニスラフ・ネイガウス (1927-1980) はゲ
ンリヒ・ネイガウスの次男であり、ブーニンの父。
1953 年モスクワ国立音楽院の父のクラスの修士
課程を修了。1957 年から父の助手として教鞭を執
る。ゲンリヒは息子扱いはせず、ナムフやマリ
ニンと一緒にしごいたという。またヴァレリア・
リストアにも師事している。開祖ゲンリヒのスタ
イルを最も色濃く受け継いだのがスタニスラフと
いっても良いだろう。ソロだけでなくスクリヤー
ビンの協奏曲などの録音もある。「感性の妙技」と
評されたその繊細な音楽性は、ショパンとスク
リヤービンの作品で存分に発揮された。ネイガ
ウスといえば父であるゲンリヒ・ネイガウスがあ
まりに大物すぎて、息子のスタニスラフ・ネイガ
ウスまで注目がいかないのは当然だろう。しかし
ゲンリヒ・ネイガウスの位置を忠実に受け継いだ
スタニスラフの演奏も同世代のピアニストと比較
すればあまりの素晴らしさに知らなかったことを後

1393-019t 6600 円 (税込)



旧ソ連
MELODIYA
C 01659
ステレオ
A
8/7

ビゼー (シCHEDリン版):
カルメン組曲

G. ロジェストヴェンスキー指揮
ポリショイ劇場 o. メンバー

レーベルタイプ【旧ソ連でのステレオ第 2 版世代】
- 青 / 銀 SL (シングルレター), 外周 1.5cm の盛上

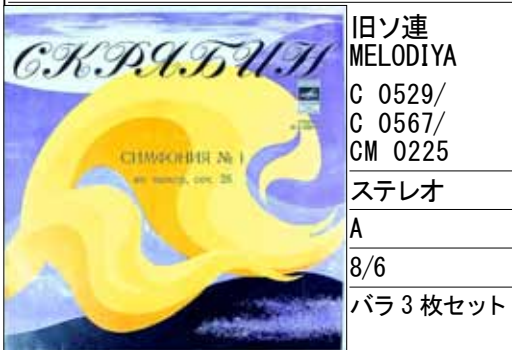
ジャケット：【旧ソ連でのステレオ第 2 版世代】 -
折返両面紙ペラ (モスクワ・アプレレフカ), ©なし,

トピックス：【入荷の少ない希少タイトル!】 -1968
年モスクワでのモノラル/ステレオ録音, 録音技
師: Igor Veprintsev, プロデューサー:不
明, 1968 年頃 MELODIYA: Д 021483/C 01659 (DL
レーベル世代) にて初リリース→ステレオは 1973
年頃同一番号 SL レーベル世代 (当アイテム) に

キズ情報:

商品説明:ビゼー (シCHEDリン編): カルメン組
曲としているが実質、編曲作品というよりシCHED
ドリンの作品といえるほど有名な編曲バレエ音
楽。勿論原曲はビゼーが作曲したフランス語によ
る全 4 幕のオペラである。この原曲から様々な抜
粋・編曲作品がある。一般的に『カルメン』組曲
として知られているのはギロー/ホフマン版組曲
で「第 1 組曲」と「第 2 組曲」である。ギローの
手による編曲でシューダンス社から刊行された、
またオーストリアの音楽学者フリッツ・ホフマン
がギローの補作を基にほぼ同じ選曲をしてブライ
トコプフ・ウント・ヘルテル社から刊行された。
シCHEDリン版『カルメン組曲』は旧ソビエト連
邦の作曲家シCHEDリンが 1967 年に編曲した 13
曲で構成されるバレエ組曲。シCHEDリンの妻で
有名なバレリーナのマイア・プリセツカヤが、こ
のバレエ音楽の依頼主である。初演も彼女によ
って 1967 年にポリショイ劇場で行われている。大
規模な弦楽オーケストラと、ラテンパーカッショ

1393-020t 8250 円 (税込)



旧ソ連
MELODIYA
C 0529/
C 0567/
CM 0225
ステレオ
A
8/6
バラ 3 枚セット

スクリヤービン：
交響曲第 1 番 Op. 26 「芸術讃歌」
交響曲第 2 番 Op. 29
交響曲第 3 番 Op. 43 「神聖な詩」
E. スヴェトラノフ指揮ソビエト国立 so.
L. アフディエフ (ms)
A. グリゴリエフ (t)


レーベルタイプ【旧ソ連でのステレオ第 2 版世代】
- ピンク / 黒 SL (シングルレター) × 3, 外周 1.5cm


ジャケット：【旧ソ連でのステレオ第 2 版世代】 -
両面紙ペラ (モスクワ・アプレレフカ) × 3, ©なし,


トピックス：【初の 3 曲バラ・セット!】 -1963 年
5 月~ 1966 年頃までのモスクワでのモノラル/ス
テレオ録音 (一部モノラルなし), 旧ソ連では録音
順に単独で 1964-1970 年までに MELODIYA:C
0529 (1 番) /C 0567 (2 番) /CM 02225 (3 番) /C
01351 (4 番) で初リリースされた, 旧東独では


キズ情報:3 番の B 面 6 時に極小~小 13 回出る
小スレ→6


商品説明:エフゲニー・スヴェトラノフ (1928 -
2002) はモスクワ生まれの指揮者。グネーシン音
楽大学でニコライ・メトネルの弟子のマリア・グ
ルヴィチャの下で学ぶ。卒業後、指揮をアレクサ
ンドル・ガウクに師事。1954 年、音楽院第 4 学
年の時からモスクワ放送交響楽団で指揮を開始
する。1955 年からポリショイ劇場の指揮者となり、
1963~1965 年には主任指揮者。1965 年からスヴェ
トラノフの黄金期といえるソビエト国立 so. (現
ロシア国立 so.) の首席指揮者に就任。2000 年ま
でその地位にあった。MELODIYA にソビエト国立
so. との非常に多くのオーケストラ作品を録音し
た。大半が作曲家ごとの全集録音となり、グリ
ンカ以降の全てのロシア・ソビエト連邦の交響楽
を録音するという念願をあと一歩で果たせなかつた
が、かなりの数のライブ録音やスタジオ録音に成
功した。スクリヤービン:交響曲全集もその一つ
である。録音は 1963 年 5 月~ 1969 年頃までで 4
曲を録音、MELODIYA にて単独で初リリースされた。


1393-021t	6600 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA CM 03245 ステレオ A 8/7
ショスタコーヴィチ： 交響曲 15 番 Op.141	
M. ショスタコーヴィチ指揮モスクワ放送 so. M. テルニャホフスキー (vn) A. コルネイエフ (fl)	
レーベルタイプ：【旧ソ連でのオリジナル世代】 - 紺 / 銀 DL (ダブルレター), グルーヴガード厚手重	
ジャケット：【旧ソ連でのオリジナル世代】 - 表ツヤペラ (モスクワ・オールユニオン), ©なし, ジャ	
トピックス：【旧ソ連でのオリジナル世代】 - 1972年1月8日モスクワでのステレオ・ライブ録音, モスクワでの世界初演ライブ, 録音技師: Severin Pasuchin, プロデューサー: 不明, これが世界初録音, 1972年 MELODIYA:CM 03245 (DL レーベル世代) で初リリース (当アイテム), DL レーベルは 15	
キズ情報：	
商品説明：当時日本の新聞でも大々的に取り上げられた音楽ニュースに、ショスタコーヴィチの交響曲 15 番の初演を息子のマキシムが行ったというものがあつた。息子も指揮者であることなどが大きく報道された。1972年1月8日のモスクワである。その年の内にロジェストヴェンスキーがモスクワ放送 so. を指揮して大阪で日本初演を行った。これは東ベルリンやニューヨークより早かったらしい。それまで大半の曲の初演を担ってきたムラヴィンスキーではなく、当時まだ新人のような指揮者である息子が担当した。時代は変わりつつあるというメッセージが強烈に世界を席巻した。これは幸いにもそのライブ録音である。世はまだその事実を受け入れないファンでいっぱいだったはず。未だマキシムの評価は定まっていないのも事実。このライブ録音もまた事実。	


1393-022n	4950 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA CM 02959 ステレオ A 7
ハチャトゥリアン： 交響曲 3 番 Op.67「交響詩曲」 ガイヌ (抜粋 8 曲)	
K. コンドラシン指揮モスクワ po. G. グロードベルク (org) ポリショイ劇場 Ens. G. ロジェストヴェンスキー指揮 レニングラード po.	
レーベルタイプ：【旧ソ連での当番号のオリジナル世代】 - 紺 / 銀 DL (ダブルレター), Made in USSR, グルー	
ジャケット【旧ソ連での当番号のオリジナル世代】 - 紙ペラ (モスクワ・オールユニオン), Made in	
トピックス：【DL レーベルは初入荷となる！】 - 交響曲 3 番: 1969年モスクワでのステレオ録音, ガイヌ: 1960年レニングラードでのモノラル/ステレオ録音, ガイヌは DGG との共同制作録音, 当初「ガイヌ」 ~ 8 曲 + チャイコフスキー: フランチェスカ・ダ・リミニのカップリングで 1961年	
キズ情報：	
商品説明：ハチャトゥリアン：交響曲 3 番は 1947年作曲の 3 曲ある最後の交響曲。さほど有名でない現代ロシア作品を録音できるのは MELODIYA 以外にない。重鎮コンドラシンの演奏なら納得。初演は 1947年12月13日、ムラヴィンスキー指揮レニングラード po. にて行われた。ロシア革命 30 周年記念のために書かれた曲、トランペットのファンファーレで始まり、オルガン・ソロが絡み付く。このソロはトッカータで難易度も高く長大とあって、演奏できる奏者が限られる。アルメニアの旋律が印象的。大編成作品。B 面は有名なバレエ曲「ガイヌ」 ~ 抜粋 8 曲を片面に収まるように収録。こちらの方がハチャトゥリアンらしさがタツプリの曲なのでファンは多いだろう。ロシア人というよりグルジア人 (現ジョージア) として独特の世界感を持つ作曲家である。一度でもはまる中毒症状を起こすと言われる。スペクタクルを信条とする独自世界！「ガイヌ」 ~ 抜粋 8 曲は 1960 年頃 DGG との共同制作録音でチャイコ	


1393-023n	3850 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA CM 01989 ステレオ A 8/7
ブラームス： Pf 協奏曲 2 番 Op.83	
S. リヒテル (pf) L. マゼール指揮パリ o.	
レーベルタイプ：【旧ソ連でのオリジナル世代】 - 紺 / 銀 DL (ダブルレター), Made in USSR, グルー	
ジャケット：【旧ソ連でのオリジナル世代】 - 両面紙ペラ (モスクワ・オールユニオン), ©なし, 露	
トピックス：1969年10月24-28日パリ・サル・ワグラムでのステレオ録音, MELODIYA=EMI との共同製作録音, 録音技師: Allan Stagg, プロデューサー: Christfried Bickenbach / Eric Macleod, EMI 側では 1970 年頃フランス: Les Industries Musicales Et Electriques Pathé	
キズ情報: B 面 6 時に無音スレ	
商品説明：ブラームス最盛期の代表作であり、難曲としても知られる協奏曲 2 番は、ピアノと管弦楽が対等に扱われ、まさに交響曲を思わせる大曲。この 1969 年ロリン・マゼールとの共演は、リヒテルの同曲の数ある録音の中で最後のものと思われる。少々ゆったりめのテンポだが豪快で力強い打鍵、溢れる色彩感。圧倒的な存在感を示すリヒテルにマゼールも負けじと挑み掛かる白熱の共演。マゼール/パリ管との珍しい組み合わせ。EMI 系録音の MELODIYA 発売分。録音は 1969 年リヒテルがパリに来て L. マゼール指揮パリ so. と共演した MELODIYA=EMI との共同製作録音の形となった。各国 EMI レーベルと MELODIYA からそれぞれ 1970 年頃ステレオ盤のみ発売された。この録音はパリ管弦楽団の生い立ちと大いに関係がある。パリ管弦楽団は 1967 年、パリ音楽院管弦楽団を発展的に解消し、フランス文化省の大臣アンドレ・マルローと音楽局長のマルセル・ランドスキの要請により、シャルル・ミュンシュ	


1393-024t	3300 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA C 01417 ステレオ A 8/7
ラフマニノフ： Pf 協奏曲 4 番 Op.40 プロコフィエフ： Pf 協奏曲 3 番 Op.26	
N. ペトロフ (pf) G. ロジェストヴェンスキー指揮ソビエト放送 o..	
レーベルタイプ【旧ソ連でのステレオ第 2 版世代】 - 青 / 銀 SL (シングルレター), 外周 1.5cm の盛上	
ジャケット：【旧ソ連でのステレオ第 2 版世代】 文字デザイン折返両面紙ペラ (モスクワ・オール	
トピックス: 1967 年またはそれ以前のモスクワでのモノラル/ステレオ録音, 録音技師: Igor Vepintsev, プロデューサー: 不明, 1967 年 MELODIYA: C 01417/C 01417 (DL レーベル世代) にて初リリース - 1976 年前後同一番号・SL (シングルレター) レーベルに変更 (当アイテム), これ	
キズ情報：	
商品説明：ロシアン・スクールの鬼才、ニコライ・ペトロフ (1943- 2011) はネイガウスの高弟、Y. ザークの門下生の中でもとびきりの技巧の持ち主で「鋼鉄のタッチと万華鏡のような音色」と評された。頭がクラクラするような超絶技巧の持ち主である。サーカス顔負けの離れ業のような録音が多いペトロフは「ロシアの重戦車」とあだ名を付けられるほどのパワーの持ち主で、当盤はそのパワーを遺憾なく発揮したロシア系のメジャー協奏曲 2 曲のカップリング。ロジェストヴェンスキーの指揮で彼の魅力が最大限に発揮される。オケを蹴散らすようなソロはやはりペトロフならではの。伝統的な演奏では勿論ないが、パワーだけでなくセンスの良さも見逃せない、趣味の良い表情を見せる。ここまで上手いと、ピアノという楽器への限りなき探求心に飽きられるほどである。この録音は話題になったらしく英米および仏からも発売された。	


1393-025p	4400 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA C10 05435 ステレオ A 8/7
チャイコフスキー： 四季 Op. 37a	
A. チェルカソフ (pf)	
レーベルタイプ：【旧ソ連でのオリジナル世代】 - 薄緑 / 黒 SL (シングルレター), グルーヴガード厚,	
ジャケット：【旧ソ連でのオリジナル世代】 - 両面紙ペラ (モスクワ・オールユニオン), ©なし, 露	
トピックス：1973 年モスクワ放送局・Großen Saal des Allunions - Rundfunks, Moskauでのステレオ録音, 録音技師: Alla Tolstopyatova, プロデューサー: Inna Chumakova, 1974 年 MELODIYA: C10 05435 (当装丁) にて初リリース, 1976 年 ETERNA: 826 742・1977 年 DGG: 2530	
キズ情報：	
商品説明：アレクセイ・チェルカソフ (1943-) についてはロシア・ピアノリズムの著者である佐藤泰一氏も多くを割いていない。ザークの弟子の一人である。ウィルサラーゼ、ペトロフ、モギレフスキー、チモフェーエフ、バークらと同門である。師のザークはネイガウスの高弟でネイガウス一派であり、彼をして「世界を牽引するピアニストである」と言わしめた巨星である。その弟子の名前も見てみると凄い連中はばかりが並ぶ。その中の一人とあっては目立たないのも無理がない。あまり期待せず聴いてみるとと驚くことに今をときめく人気の高いザークの弟子達と全く見劣りしない。ザークの弟子というだけで既に一流のお墨付があるのと同じなのだろう。尚、佐藤氏はチャイコフスキーの「四季」ではオポーリンに次いで 2 番手の録音であるとチェルカソフを褒めていて、本文では詳しく述べられなかったが、「凄腕ピアニストたち」の一人にチェルカソフを挙げている。そのメンバーは次の通り、ドミトリー・サハロフ、ウラディミ	


1393-026p	5500 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA C 10 05399 ステレオ A 7
ショパン：マズルカ集 Vol.1(16 曲) / 2 番, 5 & 6 番, 13 ~ 15 番, 18 番, 21 ~ 23 番, 22 & 23 番, 25 番, 27 番, 35 番, 40 番, 45 番, 47 番	
S. ドレンスキー (pf)	
レーベルタイプ：【旧ソ連でのオリジナル世代】 - クリーム / 黒 SL 内溝 (シングルレター), グルー	
ジャケット：【旧ソ連でのオリジナル世代】 - 折返両面紙ペラ (レニングラード), ©なし, 露語表記	
トピックス：【入荷の少ない希少タイトル!】 - 1974 年またはそれ以前の旧ソ連でのステレオ録音, 録音技師: Igor Veprintsev, プロデューサー: Inna Chumakova, 1974 年 MELODIYA: C10 05399 (SL レーベル世代) の当装丁にて初リリース (当アイテム), これは旧ソ連での初年度リリース分オリジナル,	
キズ情報：	
商品説明：セルゲイ・ドレンスキーは 1931 年モスクワ生まれ。モスクワ音楽院で G. ギンズブルクに師事。ゴリデンヴェイゼル門下生である。1957 年から母校のモスクワ音楽院のピアノ科講師を務め、1979 年に同音楽院の教授となる。1988 年にソ連当局より人民芸術家の称号を贈られている。日本ではブーニンの先生として知られるようになった。ギンズブルクの弟子で教授となったのは二人だけ。教師たちのスタイルを見事に受け継ぎ、頑固で律儀。まるでゴリデン 2 世。綺麗な音色! ドレンスキーにショパン：マズルカ全集の全曲 (51 曲) 録音はなく、Vol.1・C 10 05399 (16 曲)+Vol.2・C10 13741 (17 曲) の計 33 曲で全録音と思われる。ドレンスキーの録音は多くない!	


1393-027p	4400 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA D 06295-8 モノラル A 8/7 ケース入り 2 枚組
ショスタコーヴィチ： 交響曲 11 番 Op.103「1905 年」 Pf 協奏曲 2 番 Op.101	
E. ムラヴィンスキー指揮レニングラード po. / D. ショスタコーヴィチ (pf) A. ガウク指揮ソビエト放送 o.	
レーベルタイプ：【旧ソ連での再版世代】 - ピンク / 黒 SL (シングルレター), 3 時に▽33, グルー	
ジャケット【旧ソ連での再版世代】 - 簡易紙製ケース (モスクワ・オールユニオン), ペラリブレット	
トピックス：【入荷の少ない希少タイトル!】 - 1957 年 11 月 3 日レニングラードでのモノラル録音, 録音詳細不明, 旧ソ連では 1961 年頃 MELODIYA: D 06295-8 (後期プレ・メロディアレーベル・箱入り) にて初リリース→1960 年代中期・同一番号・DL レーベル・箱入り→1970 年代中期・同一番号・SL レー	
キズ情報：	
商品説明：11 番の録音は最初ラクリンがモノラル初期に録音。その後、ムラヴィンスキーが 1957 年モスクワでモノラル録音した。ムラヴィンスキーは 8 曲録音しており、ステレオは 2 曲のみ。1937 年 5 番の初演から 6 曲を初演しており、ショスタコーヴィチはライフワークとも言える作品だった。全曲録音は出来なかったが基準となるもの。2 枚目は協奏曲の自作自演で 1958 年最初の録音。少し前のクレイタンスの方が音質は良いがソロの乗りの良さは本人独自の閃きがある。	


1393-028p	4950 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA D 018795 モノラル A 7
ベートーヴェン：Pf ソナタ集 / 8 番 Op.13「悲愴」 14 番 Op.27-2「月光」 23 番 Op.57「熱情」	
M. グリンベルグ (pf)	
レーベルタイプ：【旧ソ連での当番号の第 2 版世代】 - ピンク / 黒 SL (シングルレター), ▽33, グルー	
ジャケット：【旧ソ連での当番号の第 2 版世代】 - 折返両面紙ペラ (モスクワ・アプレレフカ), ジャ	
トピックス：1964 ~ 66 年モスクワでのモノラル / ステレオ録音, MELODIYA 初の一人全集録音の一部である, 全集箱以前の 3 大ソナタ専用初期番号, 当 3 曲は 1966 年頃 3 大ソナタ用の企画盤として MELODIYA: D 018795 (DL レーベル・「OCT 5289-61」が存在するはず・未確認) で初リリース,	
キズ情報：	
商品説明：マリヤ・グリンベルグ (1908-78)。メロディアに一人でベートーヴェン：ソナタ全集を録音した唯一の女性ピアニスト。モスクワ音楽院で開祖プリューメンフェリト / イグムノフに学び、一流ピアニストとして認められるも、当局に弾圧され夫は獄死。1958 年頃から国民的人気を博し、1964 ~ 66 年このソナタ全集録音を完成。1968 年モノラル / 1975 年ステレオが 13 枚組箱で発売された。3 大ソナタは先行発売された (モノラルのみ)。緻密な構成力と迷いの無い打鍵がグリンベルグの特徴。生涯孤独と貧困、そして国家からの排斥に苦しんだ末に到達した純粋な境地。これが彼女のベートーヴェンへの答え! 尚 13 枚組の箱はモノラル: D 023459-84 / ステレオ: C10 05573-98 で発売された。この 3 大ソナタ入りはオリジナル・カップリングではなく、全集箱を発売する以前の 3 大ソナタ用の単売用の番号である。尚この 3 曲には旧録音があるので混同しやすい。それぞれの旧録音は、8 番が当初 SP → D	


1393-029p	1650 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA D 03810 モノラル A: 汎用ジャ ケット 7
プロコフィエフ: 交響的協奏曲 Op.125	
M. ロストロポーヴィチ (vc) K. ザンデルリング指揮レニングラード po.	
レーベルタイプ:【旧ソ連での再版世代】-ピンク / 黒 SL(シングルレター), 3 時に▽33, グルー	
ジャケット:【旧ソ連での再版世代】- 折返両面紙ペラ (モスクワ・アプレレフカ), ©なし, 露語	
トピックス:【入荷の少ない希少タイトル!】-1957年頃レニングラードでのモノラル録音, 録音詳細不明, 1957年頃コピーライト登録・同年 MELODIYA: D 03810(中期プレ・メロディア世代・GOCT 5289-56)にて初リリース, ステレオは存在しない, これは数世代後の1970年代中期(1976	
キズ情報:	
商品説明:プロコフィエフの交響的協奏曲はチェロと管弦楽のための交響的協奏曲ホ短調 作品125が正式名称で2作目のチェロ協奏曲である。プロコフィエフはその後、『チェロ小協奏曲』の作曲にも着手したが、それは未完に終わった。この協奏曲・交響的協奏曲 Op.125が最終的に『チェロ協奏曲第2番』とされなかった理由はいくつか考えられるが、最も大きなものとしては、これが『チェロ協奏曲第1番』作品58を改作したものであるという点が挙げられる。実際、楽曲の構成、主要主題は旧作と同じものによっているが、結果としては大きく異なる大曲に仕上がっている。また、管弦楽が交響的要素を強めている点も題名に反映されたと言える。初演者であり、改作にも協力したムスティスラフ・ロストロポーヴィチに献呈されている。初演は1952年2月18日、モスクワにおいて、ロストロポーヴィチのチェロ独奏、スヴァトスラフ・リヒテルの指揮とモスクワ青年交響楽団によって行われた。リヒテルが	


1393-030p	8800 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA D 031235 モノラル A 7
ハイドン: Vc 協奏曲 2 番 Op.101 シューベルト: アルペジジョーネ・ソナタ D.821 E. フォイアーマン (vc) M. サージェント指揮ロンドン po./ G. ムーア (pf/ シューベルト)	
レーベルタイプ:【旧ソ連でのLPのオリジナル世代】-紺/銀DL(ダブルレター), ▽33, グルーヴガー	
ジャケット:【旧ソ連でのLPのオリジナル世代】- 両面紙ペラ (モスクワ・オールユニオン), ジャ	
トピックス:【初入荷の希少タイトル!】-ハイドン:1935年11月25日ロンドンのEMI アビー・ロード第1スタジオでのSP録音, SPが英 COLUMBIA:LX 472-5/LX 8227-30(12" x 4枚)にて初リリース, シューベルト:1937年6月29-30日ロンドンのEMI アビー・ロード第1スタジオで	
キズ情報:	
商品説明:ハイドンは1935年ロンドンでの英コロニアへのSP録音。オーケストラ名の記載はないがロンドン・フィルハーモニー管弦楽団ではないかとされている。フォイアーマンはベルリンで1928年4月/9月ドヴォルザークのVc協奏曲のSP録音もある。ハイドン:Vc協奏曲2番は当初英国 COLUMBIA から12" x 4枚のSPセットで初リリースされた。1934年と36年には来日公演も果たした有名なチェロ奏者だった。エマーヌエル・フォイアーマン(1902 - 1942)は現・ウクライナのコロミア生まれ。フォイアーマンが5歳となった1907年に一家はウィーンへと移り住むが、これはあくまで兄ジグムントのデビューを控えてのものであった。ウィーンにおいてフォイアーマンは9歳のころから当時ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席チェリストでアルノルト・ロゼ主宰のロゼ弦楽四重奏団のメンバーでもあったフリードリヒ・ブックスバウムに師事するようになる。その後ライプツィヒに赴き、高等音楽院に入	


1393-031p	4950 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA C10 06669 ステレオ A 8/7
ロシア Vc 作品集 Vol.1/ ルビンシテイン:Vc ソナタ 1 番 Op.18 ラフマニノフ: 2つの小品 Op.2 V. フェイギン (vc) V. ポルトラツキー (pf)	
レーベルタイプ:【旧ソ連でのオリジナル世代】-青/銀SL(シングルレター) 外周1.5cmの低い盛	
ジャケット:【旧ソ連でのオリジナル世代】- 両面紙ペラ (モスクワ・オールユニオン), ジャケット	
トピックス:1976年またはそれ以前の旧ソ連でのステレオ録音, 録音技師:Margarita Kozhukhova, プロデューサー:Inna Chumakova, 1976年 MELODIYA:C10 06669(当装丁)にて初リリース, V. フェイギン (vc)/V. ポルトラツキー (pf) は19世紀ロシア Vc 作品集として連番で3枚のLPを出して	
キズ情報:	
商品説明:チェロのヴァレニン・フェイギン(1934-1995)はウクライナ生まれ。ハリコフ10年制音楽学校(現ハリコフ中等専門音楽寄宿学校)でI.M. コーガンのクラスに師事し、初等音楽教育を受けた。モスクワ音楽院を1957年に卒業し、同音楽院で大学院課程を1960年に修了した。セモン・マトヴェイェヴィチ・コソルボフに師事。1957年、モスクワで開催された第6回世界青年学生フェスティバルで第1位、1961年、全ソ連邦音楽家・演奏家コンクールで第3位を受賞。1962年、第2回チャイコフスキー国際コンクールでは2位となった。1960年よりモスクワのソリストを務め、海外ツアーも行っている。「モスクワコンサート」はモスクワ 最古の文化団体。1931年1月25日、ソ連で国立音楽・バラエティ・サーカス企業協会が設立され、その法的後継組織は現在モスクワ市国家予算文化機関「モスクワコンサート」となっている。現在も継続していると思われる。フェイギンは1994年ロシア人民芸術家に選	


1393-032t	2750 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA C 0869 ステレオ A 8/7
ドビュッシー: 夜想曲(全3曲) ラヴェル: 亡き王女の為のパヴァーヌ, ポレロ E. スヴェトラノフ指揮ソビエト放送 o./cho.	
レーベルタイプ:【旧ソ連でのステレオ再版世代】-クリーム/黒ゴシック内溝, グルーヴガード厚,	
ジャケット:【旧ソ連でのステレオ再版世代】- 両面紙ペラ (レニングラード), ©なし, 露語表記・	
トピックス:1964年又はそれ以前のモスクワでのモノラル/ステレオ録音, 1964年 MELODIYA: D 014079/C 0869(プレ・ステレオレーベル世代)にて初リリース→1966年頃同一番号・DLレーベル世代→1973年頃同一番号・SLレーベル世代→1981年頃ゴシックレーベル世代(当アイテム)	
キズ情報:	
商品説明:ドイツですら1960年代中期以降に初めてフランス作品が録音された経緯を考えるとロシアで1964年にドビュッシー/ラヴェル作品が発売された事実は重い。ロシアとフランスは文化的にも相当異なるからである。ここではフランス的かどうかという点はあまり重要ではなく、ロシア人だけでこれだけの完成度の高い演奏が行われたことを評価したい。多少ロシア好みの強調されたアクセントはあるがそれはそれで楽しめる。ポレロはクレッシェンドが待ちきれない気分が伝わる。MELODIYA 盤は再版でも他の西側レーベルに比べ音質は相当に良い!ステレオは当初プレ・ステレオレーベル世代で発売されたが未入荷の希少盤!	


1393-033t	3300 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA C10 10923 ステレオ A 7
<p>グリーグ： Pf 協奏曲 Op.16 ラヴェル： Pf 協奏曲 V. エレシコ (pf) G. ロジェストヴェンスキー (指揮/グリーグ) V. フェドセーエフ (指揮/ラヴェル) モスクワ放送 o.</p>	
<p>レーベルタイプ【旧ソ連での第2版世代】- クリム / 黒ゴシック, グルーヴガード厚, Г O C T</p>	
<p>ジャケット:【旧ソ連での第2版世代】- 両面紙ペラ (モスクワ・アプレレフカ), ©なし, 露 / 英語</p>	
<p>トピックス:グリーグ:1971年またはそれ以前のモスクワでのステレオ録音,1971年 MELODIYA: C M 02567(DLレーベル世代+グリーグ:詩的な音の絵 Op.3)にて初リリース,ラヴェル:1978年モスクワでのステレオ録音,録音詳細不明,1978年2曲がカップリングされ MELODIYA:C10 10923(SL)</p>	
<p>キズ情報 :B面に散発的なノイズ入る部分あり</p>	
<p>商品説明:ヴィクトル・エレシコは1942年ウクライナ生まれ。1963年ロン・ティボー国際コンクールの優勝者。系譜はイグムノフ→フリエール/ウラセンコ。25点あまりの録音をLPで残しており、協奏曲は他にラフマニノフ全集がある。グリーグは1971年頃ロジェストヴェンスキー指揮モスクワ放送 o.との録音で、CM 02567(DLレーベル世代+グリーグ:詩的な音の絵 Op.3)にて初リリースされた。1978年になってラヴェルがV. フェドセーエフ指揮モスクワ放送 o.と録音され、この2曲がカップリングされ新番号:C10 10923で2曲入りが発売された。ラヴェルはこの番号C10 10923が初出番号となる。ラヴェルはなかなかの聴きもの。西側とはオケが異なる。ソロの前から爆演気味。しかしエレシコのソロは独自のテンポでオケに対抗。V. フェドセーエフがきりりとしたオケで締めてなかなか良い雰囲気。ソロはたっぷり間をとった抒情的スタイルで個性的なラヴェルが展開する。</p>	


1393-034t	2750 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA C10 06891 ステレオ A 8/7
<p>グリーグ： 抒情小曲集 (全10巻66曲~抜粋20曲)</p>	
<p>E. ギレリス (pf)</p>	
<p>レーベルタイプ【旧ソ連での第2版世代】- クリム / 黒ゴシック, グルーヴガード厚, Г O C T</p>	
<p>ジャケット:【旧ソ連での第2版世代】- 両面紙ペラ (モスクワ・アプレレフカ), ©1980, 露 / 英語</p>	
<p>トピックス:1974年6月西ベルリン・ベルリン・ダーレム・イエズス・クリストゥス教会 RIAS スタジオ (Berlin-Dahlem - Jesus-Christus-Kirche)でのステレオ録音,録音技師:Klaus Scheibe, プロデューサー: Gunther Breest, ドイツでは1974年 Polydor International GmbH, Hamburgによ</p>	
<p>キズ情報:</p>	
<p>商品説明 :DGGに入れたベートーヴェンのソナタ全集で彼が見せた解釈を思えば、この演奏も容易に想像できる。ギレリスには嘘や「はったり」が全く無い。一聴して物足りなさを感じるが、この曲を情緒連綿たる演奏で弾かれては、繰り返し聴くことにはならないだろう。全曲に数曲足りないベートーヴェンこそ入れておいて欲しかったと思うが、なぜこの時期(1974年)にグリーグを録音したのだろうか、全66曲の中からどのようにして20曲を選んだのか、そんなことに思いを馳せて聴くのも一興である。強烈な打鍵で「鋼鉄のタッチ」と言われるギレリスだが、ここではしっかりと優しく、抒情的である。繊細且つ美しい演奏で選集ではトップランクの1枚とって過言ではない名演!DGGに移籍してからのギレリスはMELODIYAやRCA時代とは大きく芸風を変化させている。グリーグが「抒情小品集」第1巻を書き始めたのが1864年の21歳の時である。それから最後の第10集は20世紀に入った1901年の</p>	


1393-035n	3300 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA CM 04207 ステレオ A 8/7
<p>シベリウス： Vn 協奏曲 Op.47 プロコフィエフ： Vn 協奏曲 2番 Op.63 H. シェリング (vn) G. ロジェストヴェンスキー指揮ロンドン so.</p>	
<p>レーベルタイプ:【旧ソ連での第2版世代】- 青 / 銀 SL (シングルレター), 外周1.5cmの低い盛上</p>	
<p>ジャケット:【旧ソ連での第2版世代】- 両面コートペラ (モスクワ・オールユニオン), 露 / 英語表</p>	
<p>トピックス:1966年7月ロンドンでモノラル/ステレオ録音, PHILIPS=MELODIYA共同製作のロシア側プレス, 録音詳細不明, 1966年 N.V. Philips Phonografische Industrieによりコピーライト登録・同年 PHILIPS:A 02487 L/835 357 LY(アズキ/銀3本線レーベル)にて初リリース, 指揮がロ</p>	
<p>キズ情報 :A面2時に極小~小7回出る点</p>	
<p>商品説明 :1966年ロンドンにて録音され PHILIPSで発売されたシェリング2度目のシベリウスとプロコ2番。どちらも ODEONに初回モノラル録音があった(高額)。指揮はロジェストヴェンスキー、ロンドン録音なので音質は良くメロディアでもその良さは変わらない。演奏・音質共に良好でビグナーからシニアまで納得の得られる演奏。メロディアは'70年代プレスながら非常に録音が良く、シェリングの上品で艶やかな弦がしっかり出てくる。テンポ良く落ち着いたオケと共に長く付き合える内容と言える。これはロジェストヴェンスキーの母国発売分。PHILIPSとは音質が異なるものの MELODIYA好きの方なら西側音源でもやはり MELODIYAの方が気になる所。PHILIPSと聴き比べも面白い。ロジェストヴェンスキーが指揮なので PHILIPS=MELODIYAの共同制作となった。MELODIYAにモノラル存在せず。</p>	


1393-036n	8800 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA C10 06637 ステレオ B: 四方にテープ 8/7
<p>ショスタコーヴィチ： Va ソナタ Op.147</p>	
<p>F. ドルジーニン (va) M. ムンチャン (pf)</p>	
<p>レーベルタイプ:【旧ソ連でのオリジナル世代】- 青 / 銀 SL (シングルレター), 外周1.5cmの低い</p>	
<p>ジャケット:【旧ソ連でのオリジナル世代】- 両面紙ペラ (モスクワ・オールユニオン), 露語表記・</p>	
<p>トピックス:【入荷の少ない希少タイトル!】-1976年旧ソ連でのステレオ録音, 録音技師:Yuri Kokzhayan, プロデューサー:Inna Chumakova, 1976年 MELODIYA:C10 06637(当装丁)にて初リリース, これは旧ソ連での初年度リリース分オリジナル, 入荷の少ない希少タイトル!録</p>	
<p>キズ情報:</p>	
<p>商品説明 :当盤は数ある露 MELODIYAの中でも極めて特別な録音で、献呈者による演奏に加えて、ショスタコーヴィチが亡くなる4日前に書き上げた最期を飾る傑作である。演奏自体も古くから親交のあったドルジーニンならではの深遠なる表現であり、取り分け最終楽章のアダージョ等はショスタコーヴィチの世界観を体現した天国的な表現が絶え間なく続く。音質も特筆すべき希少盤である。ショスタコーヴィチのヴィオラ・ソナタは作曲者の亡くなる4日前である1975年8月5日に最終校訂を完了した。ショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲の多くを初演した、ベートーヴェン弦楽四重奏団の第2代ヴィオラ奏者フョードル・ドルジーニンのために作曲された。全曲はそれより2か月ほど前に完成し、初演者のドルジーニンとミハイル・ムンチャンは初演に向けて練習を始めていた。作曲者はドルジーニンに「この作品は晴れ晴れとしたもので、第1楽章は短編小説。第2楽章はスケルツォ、第3楽章はベートーヴェン追</p>	


1393-037n	3300 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA CM 03121
	ステレオ
	A
	7
<p>バルトーク： Pf 協奏曲 2 番 プロコフィエフ： Pf 協奏曲 5 番 Op.55</p> <p>S. リヒテル (pf) L. マゼール (指揮) パリ o. (バルトーク) ロンドン so. (プロコフィエフ)</p>	
<p>レーベルタイプ：【旧ソ連でのオリジナル世代】 - 紺 / 銀 DL (ダブルレター), グルーヴガード厚手,</p>	
<p>ジャケット：【旧ソ連でのオリジナル世代】 - 両面紙ペラ (モスクワ・オールユニオン), ©なし, 露</p>	
<p>トピックス【DL レーベルは入荷 2 度目の希少盤!】 -バルトーク (パリ o.):1969 年 10 月 24 ~ 28 日 パリ・サル・ワグラムでのステレオ録音, MELODIYA=EMI グループの共同制作録音, 録音技師:Allen Stagg, プロデューサー:Christfried Bickenbach, プロコフィエフ (ロンドン so.):1970</p>	
<p>キズ情報:</p>	
<p>商品説明:1969 ~ 70 年、ロリン・マゼールと共演した 2 曲のピアノ協奏曲。バルトーク 2 番の第 1 楽章では弦楽器が全く使用されず、打楽器のように使われるピアノと管楽器の掛け合いが面白い。そして、リヒテルの最も得意とするプロコフィエフの 5 番は、5 つの楽章で構成される彼のピアノ協奏曲の中でも異色の作品。どちらもあまり馴染みのない曲だが、初めて聴く方も十分楽しめる 1 枚。仏 VSM、カラー切手ニッパあり。MELODIYA=EMI グループの共同制作録音なので EMI 系と MELODIYA の両方から LP が発売された。リヒテルが西側で録音を行う場合、必ず西側と MELODIYA の両方から発売されることとなる。EMI グループとの共同制作録音は 1969 ~ 79 年の間に全部で 8 曲のピアノ協奏曲があることがわかっている。ブラームス:ピアノ協奏曲第 2 番、バルトーク:ピアノ協奏曲第 2 番 (L. マゼール/パリ o.), グリーグ/シューマン:ピアノ協奏曲 (マタチツチ指揮 / モンテカルロ国立歌劇場 o.), ドヴォル</p>	


1393-038n	4400 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA C10 06261
	ステレオ
	A
	8/7
<p>ヴィヴァルディ:Vc 協奏曲 Rv.400 シューベルト:小協奏曲 D.345 ハイドン:Vc 協奏曲 1 番 Hob.VIIb-1</p> <p>N. ゲートマン (vc) L. マルキス指揮モスクワ po.</p>	
<p>レーベルタイプ：【旧ソ連でのオリジナル世代】 - 青/SL (シングルレター), 外周 1.5cm に低い盛り,</p>	
<p>ジャケット：【旧ソ連でのオリジナル世代】 - 両面紙ペラ (モスクワ・オールユニオン), ©なし, 露</p>	
<p>トピックス：【初入荷 2 度目の希少タイトル!】 -1974 年頃モスクワでのステレオ録音, 録音技師:Igor Veprintsev /Margarita Kozhukhova, プロデューサー:Inna Chumakova.1975 年頃 MELODIYA:C10 06261 (当装丁) にて初リリース, これは旧ソ連での初年度リリース分オリジナル,</p>	
<p>キズ情報:</p>	
<p>商品説明:チェロ奏者のナターリヤ・ゲートマン (1942-) は現、ロシア連邦・タタールスタン共和国の首都であるカザンの生まれ。「だったん人の踊り」で知られるだったん人とはタタール人のことである。ゲートマンは 13 歳のときモスクワ音楽院に進み、ガリーナ・コズルポワに入門する。卒業証書を得た後ムスティスラフ・ロストロポーヴィチの助手となり、またスヴァトスラフ・リヒテルの知遇を得て、大きな影響を受けるようになる。リヒテルの側もゲートマンに影響され、彼女のことを根っからの音楽家と呼んでいた。1964 年のチャイコフスキー・コンクールでは第 3 位に入り、ウィーン国際青少年音楽祭において金メダルを、1966 年の国際ドヴォルザーク音楽祭では首位を射止めた。さらに 1967 年のドイツ公共放送連盟国際音楽コンクールにおいては、ピアノ伴奏のアレクセイ・ナセトキンと室内楽部門において金メダルを獲得している。1960 年代後期から多くの西側の音楽家との共演を重ね、国際的チェリストの</p>	


1393-039n	2750 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA C 0337
	ステレオ
	A: 軽度のシワ
	8/7
<p>プロコフィエフ： 交響曲 2 番 Op.40</p> <p>G. ロジェストヴェンスキー指揮 ソビエト放送 o.</p>	
<p>レーベルタイプ【旧ソ連でのステレオ第 2 版世代】 -ピンク / 黒 DL (ダブルレター), グルーヴガー</p>	
<p>ジャケット：【旧ソ連でのステレオ再版世代】 - 折返紙ペラ (モスクワ・オールユニオン), Mede in</p>	
<p>トピックス:1962 年頃のモノラル / ステレオ録音, 録音詳細不明, 1962 年頃 MELODIYA: Д 010341/C 0337 (ブレ・メロディア / プレ・ステレオレーベル) にて初リリース, これは 1968 年頃製造の DL (ダブルレター) レーベル第 2 版盤が同じ頃製造のジャケットに入るケースで初期盤, MELODIYA は音</p>	
<p>キズ情報:</p>	
<p>商品説明:ロジェストヴェンスキーが本国で最初のステレオによるプロコフィエフの交響曲全集を録音したことは知られている。ロジェストヴェンスキーは全集をかなり録音しているが、彼が手掛けた全集の中でプロコフィエフが順番として早い時期になったのは頷ける。実は '62 ~ '68 年の全集以前に 3/4 番の 2 曲のみソビエト国立放送 so. ではなく、ソビエト国立 o. との旧録音がある。モノラル期のロジェストヴェンスキーは、ムラヴィンスキーばりの爆演タイプだったが、このステレオ期に入ると落ち着き払った演奏。全集はバラ 6 枚が初出の形。西側にはマルティノンもあるが、いかにマルティノンでもロシア勢には敵わない。日本人には馴染みの薄い曲ではあるが、ショスタコ等も注目されている昨今である。軽快にしてロシア的リズムの大波にさらわれる気分。</p>	


1393-040n	4950 円 (税込)
	旧ソ連 MELODIYA Д 027777
	モノラル
	A
	8/7
<p>ベートーヴェン： 交響曲 6 番 Op.68「田園」</p> <p>W. フルトヴェングラー指揮 ベルリン po.</p>	
<p>レーベルタイプ：【旧ソ連での第 2 版世代】 - ピンク / 黒 SL (シングルレター), M 33, グルーヴガー</p>	
<p>ジャケット：【旧ソ連での第 2 版世代】 - 両面紙ペラ (モスクワ・アプレレフカ), 露語表記・国内仕様,</p>	
<p>トピックス:1944 年 3 月 20-22 日・ベルリン国立歌劇場でのモノラル・ライブ録, SP 未発売, 録音詳細不明, ベルリン・フィルハーモニック協会保有音源だがソ連軍によってベルリンから接収された一連の音源の一つ, ドイツでの LP 発売はない, 仏協会:SWF7104, 英ユニコーン:未発売, カナダ</p>	
<p>キズ情報:</p>	
<p>商品説明:フルトヴェングラーによる第二次大戦中の「田園」である。大戦中のフルトヴェングラーについては、どの音源も特殊な空気感を持っているが、当「田園」も例外ではない。1944 年という終戦間近の影響もあってか、とても標題のようなどかな田園風景とは別物である。特に 3, 4 楽章は恐ろしいまでに鳴り響いており、爆弾が投下された田園のようである。1944 年 1 月 30 日、ベルリン・フィルが本拠地としていた旧フィルハーモニーが連合軍の爆撃で大破し、ベルリン国立歌劇場、大聖堂、劇場だったアドミラル・バラスト、旧フィルハーモニーの近くのベートーヴェン・ザールなど、演奏会場を転々としていた。最終的に定期公演は会場を国立歌劇場に移して行われた。「田園」はこの時 1944 年 3 月 20-22 日の演奏で、フルトヴェングラーの 7 種ある「田園」の中でも最も劇的で凄絶な演奏として有名。当日の演目は、ウェーバー「魔弾の射手」序曲、ラヴェルの「ダフニスとクロエ」で、いずれも録音が残っている</p>	


1393-041	8800 円 (税込)
	英国 RCA SB 2003 ステレオ A: 右端にテープ跡 7/6
リムスキー・コルサコフ: 交響組曲「シェヘラザード」Op.35	
P. モントゥー指揮ロンドン so. H. マグワイア (vn)	
レーベルタイプ:【英国でのステレオ・オリジナル】 - 赤 / 銀中溝 LIVING STEREO, 12 時にラウンド Red	
ジャケット:【英国でのステレオ・オリジナル】 - 表コートペラ, 6 時に黒色ベースにカラー 3 色矢	
トピックス:1957 年 6 月 3/11/13 日ロンドン・キングズウェイ・ホールでの英 DECCA チームによるモノラル/ステレオ録音, 録音詳細不明, 米国では 1958 年 Radio Corporation Of America によりコピーライト登録・同年 RCA:LM 2208/LSC 2208(赤 SD 中溝レーベル・厚紙ジャケット)にて	
キズ情報:B 面 11 時冒頭に小 29 回出る 5mm のスレ	
商品説明:超が付く名演。1957 年 6 月ロンドンでのモノラル/ステレオ録音。RCA 発売だが、英 DECCA チームによる録音。速めのテンポで冒頭のテーマをドカンと一発。その後に出てくる Vn のソロ、納得のロンドン so.。やはりアメリカのおケとは格の違いが出る。決して爆演ではなく、むしろ抑えた理知的な演奏。鳴らすところではガツンと来る。端正で整ったフォルムに驚くはず。この曲の模範となるべき永遠の名演だろう。音質も勿論大満足! モントゥーそして RCA の代表作である。「シェヘラザード」には管弦楽版の 1888 年作の交響組曲「シェヘラザード」と 1910 年に伝説的なバレエ団「バレエ・リュス」でバレエ化されたバレエ音楽「シェヘラザード」の 2 種が存在する。モントゥーは翌 1911 年から 1914 年まで「バレエ・リュス」の指揮者を務め、『ペトルーシュカ』『ダフニスとクロエ』『春の祭典』などの初演を行い、人気演目であった『シェヘラザード』も度々指揮していた。交響組曲「シェヘラザード」は 1888	


1393-042	33000 円 (税込)
	英国 RCA SB 2005 ステレオ A: 裏面に書き込み 7
ストラヴィンスキー: 春の祭典	
P. モントゥー指揮パリ音楽院 o.	
レーベルタイプ:【英国でのステレオ・オリジナル】 - 赤 / 銀中溝 LIVING STEREO, 12 時にラウンド Red	
ジャケット:【英国でのステレオ・オリジナル】 - 表コートペラ, 6 時に黒色ベースにカラー 3 色矢	
トピックス:1956 年 11 月 2/5/6/11 日パリ・サルワグラムでのモノラル/ステレオ録音, 録音詳細不明, 米国では 1957 年 Radio Corporation of America によりコピーライト登録・同年 RCA からモノラル:LM-2085 にて初リリース/1958 年ステレオ:LSC-2085(SD レーベル・厚紙ジャケット入り)	
キズ情報:	
商品説明:モントゥーと言えば「春の祭典」と言えるほど両者のイメージは強い。1913 年にニジンスキーの舞踏とモントゥーの指揮によりシャンゼリゼ劇場で初演された。客席にはサン＝サーンス、ドビュッシー、ラヴェルなどの錚々たる顔ぶれが揃っていた。初演に先立って行われた公開リハは平穩に終わったが本番は大混乱となったという。2 回目以降は絶賛を得て「春の祭典」の初録音もモントゥー/パリ交響楽団によって 1929 年に SP 録音が行われた。以降、モントゥーはサンフランシスコ響、ボストン響、パリ音楽院 o. と 1956 年までに 4 回の録音を行い、春の祭典 = モントゥーというイメージが定着した。ストラヴィンスキーは、その後何度か改定版を出しているため、当 1956 年の版は不明だが、ストラヴィンスキーが録音の度に最新版を使ったのに対し、モントゥーは自身でアレンジを加えていったことが分かっている。音質などから考えても、このパリ録音が空前絶後の名演であることは間違いなさだろう。	

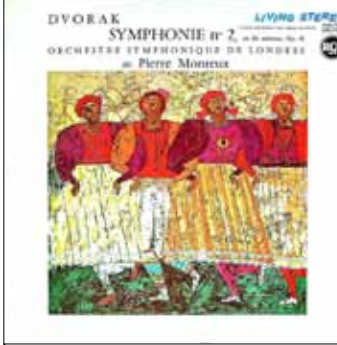
1393-043	3850 円 (税込)
	フランス RCA 640 831 ステレオ A 8/7
ベートーヴェン: 交響曲 8 番 Op.93 ブラームス: ハイドン変奏曲 Op.56a	
P. モントゥー指揮 ウィーン po.(ベートーヴェン) ロンドン so.(ブラームス)	
レーベルタイプ:【フランスでのカップリング替えのオリジナル】 - アズキ / 銀 RCA Victor, 12 時方向	
ジャケット:【フランスでのカップリング替えのオリジナル・タイプ】 - 折返表コートペラ, 1 時に白	
トピックス:ベートーヴェン(ウィーン):1959 年 4 月 15/22 日 ウィーン・ゾフィエンザールでのモノラル/ステレオ録音, ブラームス(ロンドン):1958 年 12 月 8-9 日ロンドン・キングズウェイ・ホールでのモノラル/ステレオ録音, 英国ではベートーヴェン:交響曲 1 番(1960 年 4 月 20-24 日録音)/8	
キズ情報:	
商品説明:ピエール・モントゥーはベートーヴェンの交響曲数曲をウィーン po. と録音(RCA)している。第 1、3、6、8 番が知られている。残りの第 2、4、5、7、9 番(PHILIPS)はロンドン so.(第 9 番はウェストミンスター発売)と録音していて、両方を合わせて一応全曲録音した体となっているが本人にそんな意識はなかっただろう。CD 期になってレーベルに垣根がなくなったことで全集として発売されているが、LP 時代はレーベルが異なるので全集として認識されることはなかった。特にウィーン po. との録音は RCA 音源であり、欧州盤は希少で、米国盤は音質が今一つという悪条件のもとで、目立つことは少なかった。モントゥーは 1875 年生まれの指揮者ながら 1964 年 89 歳で亡くなる直前まで精力的に活動した息の長い指揮者であった。1963 年にロンドン交響楽団を率いて来日。その時 88 歳と高齢であったがその際、第 6 回大阪国際フェスティバルにて公演を行っている。晩年までパワーが劣えることはな	

1393-044	7700 円 (税込)
	フランス RCA 640 746 ステレオ A 7
ブラームス: 交響曲 2 番 Op.73	
P. モントゥー指揮ウィーン po.	
レーベルタイプ:【フランスでのステレオ・オリジナル】 アズキ / 銀 RCA Victor, 12 時方向に O 銀塗	
ジャケット:【フランスでのステレオ・オリジナル】 - 折返表コートペラ, 1 時に白ベース □ RCA	
トピックス:1959 年 4 月 13-15 日ウィーン・ゾフィエンザールでのモノラル/ステレオ録音, 英国 DECCA 音源で RCA に供給した録音の一つ, 録音技師:不明, プロデューサー:John Calshaw(記載なし), 英国では 1960 年英国 RCA: RB 16241/SB 2110 にて初リリース, 1973 年頃 RCA との提携	
キズ情報:	
商品説明:P. モントゥー指揮ウィーン po. の共演は 1959 年前後に数点存在するだけの限られた録音であり、DECCA の John Calshaw がプロデューサーを手掛けた録音で、カラヤンのケースと同様に RCA レーベルとして米国市場を意識した録音であった。ベートーヴェンの交響曲では第 1 番、第 3 番、第 5 番、第 6 番、第 8 番などがウィーン po. と録音されていて今もって名演と評価が高い。ブラームスの交響曲に関してはこの 2 番だけである。録音は 1959 年で P. モントゥー指揮ウィーン po. の絶頂期に当たる録音である。モントゥーは、ブラームスを敬愛していたらしいがブラームスが 2 番しかないことは残念である。なお 2 番は 1962 年ロンドン so. と PHILIPS に再録音している。当録音の特徴としてまずテンポが非常にゆっくりしている点が上げられる。時間を計測したファンの方がおられ、モントゥーは計 43 分 54 秒である。他の名演として知られるクレンペラー/フィルハーモニア o.(1956 年)が 38 分 52 秒、	


1393-045	8800 円 (税込)
	フランス RCA 640 809 ステレオ A 8/7
シベリウス： 交響曲 2 番 Op.43	
P. モントゥー指揮ロンドン so.	
レーベルタイプ:【フランスでのステレオ・オリジナル】アズキ/銀 RCA Victor,12 時方向に○銀塗	
ジャケット:【フランスでのステレオ・オリジナル】-折返表コートペラ,1 時に白ベース□RCA	
トピックス:【フランス・ステレオは初入荷の希少タイトル!】-1958 年 6 月 18-20 日ロンドンでのモノラル/ステレオ録音,録音詳細:不明,米国では 1959 年頃 Radio Corporation of America によりコピーライト登録・同年米 RCA:LM 2342/LSC 2342 にて初リリース,英国では 1959 年英 RCA:RB	
キズ情報:	
商品説明:1956 年、DECCA は米 RCA の英国での発売権を取得。同時に自社の契約音楽家を使って RCA へのステレオ録音を開始した。英国内及び専属契約を持つオーケストラ(ウィーン po.)を DECCA のチームが録音し、RCA へ供給するという図式が生まれた。これが 1973 年頃まで続く。1973 年に契約が切れて RCA へ供給した音源は DECCA レーベルから再販という形でリリースされた。したがって RCA でも DECCA 録音はアメリカ録音と基本的に異なる。それは RCA 米プレスで聴いても同様。これも欧米両方で大人気を博したモントゥーの 1958 年英国録音。米国、英国では録音してすぐの 1959 年にモノラル/ステレオで発売されたが、フランスでは 1965 年頃になって仏 RCA からモノラル/ステレオで発売されたようである。音源保有でも録音場所でもないフランスでは RCA 音源は大抵数年遅れで発売となるのが通例である。プレスは DECCA ではなく AREA というプレス専門の会社が行っていた。モントゥーはシ	


1393-046	8800 円 (税込)
	フランス RCA 640 593 ステレオ A 8/7
チャイコフスキー： 交響曲 4 番 Op.36	
P. モントゥー指揮ボストン so.	
レーベルタイプ:【フランスでのステレオ・オリジナル】アズキ/銀外周サークル,12 時方向に○銀	
ジャケット:【フランスでのステレオ・オリジナル・タイプ】表コートペラ,1 時に大きく Living	
トピックス:1959 年 2 月 28 日ボストン・シンフォニー・ホールでのモノラル/ステレオ録音,録音技師:John Crawford,プロデューサー:John Pfeiffer,米国では 1960 年 Radio Corporation of America によりコピーライト登録・同年米 RCA:LM 2369/LSC 2369(SD・Living Stereo・長	
キズ情報:	
商品説明:モントゥー/ボストンのチャイコは 4・5・6 番を録音していて 1959/58/55 年の録音。米国では 4 番はステレオ LSC 2369 で'58 年に出た(未入荷)。その後モントゥーはロンドン po.と 6 番「悲愴」のみ再録したが、他はコンサート・ホールに 5 番があるくらい、4 番はこれ一度きりのようだ。1959 年の 3 曲中の最後の 4 番は音質・演奏とも安定しており、モントゥーの美学を余す所なく発揮。凄い迫力!もちろん英 DECCA プレスである SB ナンバーの音質は最高ランクだが相当な高額である。フランス・ステレオ盤は英国 RCA とは全く異なる独自に製造したマスターを使ってプレスしており、英国系オーディオファイル LP とは考え方が異なるものの、鮮烈な音質であることは変わらない。米国 LGS の強い音質にはとてもついていけないと感じられる方には音楽性を重視して製作されたフランス・ステレオが合うかも知れない。それよりモントゥーの考えるチャイコフスキー交響曲は他の欧州系指揮者とは一線を画すという点	


1393-047	7700 円 (税込)
	フランス RCA 640 545 ステレオ A 7
チャイコフスキー： 交響曲 5 番 Op.64	
P. モントゥー指揮ボストン so. J. スタリヤーン (hr)	
レーベルタイプ:【フランスでのステレオ・オリジナル・タイプ】-アズキ/銀 RCA Victor 狭内溝,12	
ジャケット:【フランスでのステレオ・オリジナル】-折返表コートペラ,1 時に白ベース□RCA	
トピックス:1958 年 1 月 8 日米国ボストン・シンフォニー・ホールでのモノラル/ステレオ録音,録音技師:Lewis Layton,プロデューサー:Richard Mohr,米国では 1958 年 Radio Corporation of America によりコピーライト登録・同年 RCA:LM 2239/LSC 2239(SD レーベル)にて初リリース,	
キズ情報:	
商品説明:1958 年の米国録音。アメリカ録音ということ差し引いて考えても、実にフランス的な香りのするチャイコフスキー。一定のテンポで進めるが、何とも躍動的で安定感のある演奏。そして意外だが、弦がとても柔らかい。仏プレスで、しっかり上品な柔らかさが出ている。この点が、セル/クリブランドとの大きな違い。モントゥーが何より中庸ということを念頭に置いていたのだろう。特徴があるようで無い。しかし、オケには熱気があり、ロマン的でもある。クール・ロマン、これがモントゥー!! モントゥー/ボストンのチャイコは 4・5・6 番を録音していて 1959/58/55 年の録音。その後モントゥーはロンドン po.と 6 番「悲愴」のみ再録したが、他はコンサート・ホールに 5 番が有るのでこれが初録音である。1958 年のボストン録音でとても安定しておりモントゥーの美学を余す所なく発揮。凄い迫力!もちろん英 DECCA プレスである SB ナンバーの音質は最高ランクだが相当な高額である。フランス・ス	


1393-048	7700 円 (税込)
	フランス RCA 640 700 ステレオ A 8/7
ドヴォルザーク： 交響曲 7 番 Op.70	
P. モントゥー指揮ロンドン so.	
レーベルタイプ:【フランスでのステレオ・オリジナル】-アズキ/銀外周サークル 2 本線,12 時方	
ジャケット:【フランスでのステレオ・オリジナル】表コートペラ,1 時に青文字で Living	
トピックス:1959 年 10 月 19-20 日ロンドン・キングズウェイ・ホールでのモノラル/ステレオ録音,録音技師:Kenneth Wilkinson,プロデューサー:Michael Bremner,米国では 1961 年頃 Radio Corporation of America によりコピーライト登録・同年米 RCA:LM/LSC 2489(SD ドッグ)	
キズ情報:	
商品説明:モントゥーが正規に録音したドヴォルザークの交響曲は 2 曲だけである。どちらも 1959 年ロンドン交響楽団との録音で交響曲第 4 番 二短調 Op.13:と交響曲第 7 番 二短調 Op.70 である。録音時モントゥーは 84 歳の高齢であった。モントゥーは 1875 年生まれ指揮者ながら 1964 年 89 歳で亡くなる直前まで精力的に活動した息の長い指揮者であった。1963 年にロンドン交響楽団を率いて来日。その時 88 歳と高齢であったがその際、第 6 回大阪国際フェスティバルにて公演を行っている。晩年までパワーが劣えることはなく、明瞭でバランスの良い演奏をする指揮者であった。何より洗練されたスタイルが既に 1950 年代に完成していた事実には驚かされるのである。癖のないストレートな表現が何度聴いても飽きのこない名演として時代の波を乗り越える普遍的な良さを持っている。フランス人ながら、ブラームス好きであったものの、さすがにスラウ作品は 2 曲だけに留まった。しかし 9 番「新世界より」で	

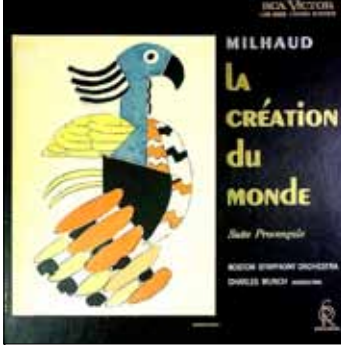
1393-049	5500 円 (税込)
	フランス RCA 645 009 ステレオ A 8/7
チャイコフスキー： 交響曲 6 番 Op.74「悲愴」	
C. ミュンシュ指揮ボストン so.	
レーベルタイプ：【フランスでのステレオ・オリジナル】 - アズキ / 銀 RCA Victor 狭内溝, 12 時方	
ジャケット：【フランスでのステレオ・オリジナル】 表コートペラ, 7 時に DYNAGROOVE 青文字口 RCA	
トピックス：1962 年 3 月 12 日ボストン・シンフォニー・ホール (Symphony Hall, Boston) でのモノラル / ステレオ録音, 録音技師：Lewis Layton, プロデューサー：Richard Mohr, 米国では 1963 年頃 Radio Corporation Of America によりコピーライト登録・同年米 RCA:LM 2683/LSC	
キズ情報：	
商品説明：ミュンシュがボストン響時代に録音したチャイコフスキーは、交響曲第 4 番、第 6 番、弦楽セレナーデ、『ロメオとジュリエット』(2 回)、『フランチェスカ・ダ・リミニ』、それにヴァイオリン協奏曲 (ミルンティンおよびシェリングとの共演) がある (交響曲第 5 番は未録音)。この当時ミュンシュと並行して C. モントゥーも RCA に籍があり、モントゥー指揮ボストン響と交響曲第 4 番～第 6 番の録音を 1955 年～1959 年にかけて行っている。「悲愴」は両者が録音しており、モントゥーが 1955 年 1 月、ミュンシュがその 7 年後の 1962 年 3 月にボストン交響楽団と録音している。同じフランス系指揮者であり、何方も米国で成功を収めた指揮者であり、2 人とも RCA に籍を置いていた。2 人はスタイルも異なるものの共通点も多く、どちらもボストン so. という共通のオケを振っている点が面白い。ボストン交響楽団の歴史をみると 1881 年に創設された米国 5 大オケの一つでピエール・モントゥー (在任・1919	


1393-050	4950 円 (税込)
	フランス RCA 640 825 ステレオ A 7
チャイコフスキー： 弦楽セレナーデ Op.48	
C. ミュンシュ指揮ボストン so.	
レーベルタイプ：【フランスでのステレオ・オリジナル】 - アズキ / 銀 RCA Victor 逆内溝, 12 時方	
ジャケット：【フランスでのステレオ・オリジナル】 - 折返表コートペラ, ©なし, ジャケ裏年号：5-	
トピックス：チャイコフスキー：1957 年 3 月 3 日米国ボストンでのモノラル / ステレオ録音, 録音詳細不明, 米国では 1957 年頃 Radio Corporation Of America によりコピーライト登録・同年米 RCA からモノラル:LM 2105 にて初リリース (+エルガー+バーバーの 3 曲入り)/1958 年頃	
キズ情報：	
商品説明：C. ミュンシュ指揮ボストン so. によるチャイコフスキーは 1957 年に弦楽セレナーデが録音され、同時期に録音されたエルガー：「序奏とアレグロ」とバーバー：弦楽のためのアダージョ Op.11 の曲がカップリングされて米 RCA から 12" でリリースされたが、フランスでは最初にチャイコフスキー：弦楽セレナーデの 1 曲入り 10" がモノラル単独リリースされ、1966 年頃にエルガーが入る 12" ステレオ 2 曲入りが発売されたようである。シャルル・ミュンシュ (1891-1968) は、当時ドイツ帝国領であったアルザス地方ストラスブルに生まれ、いったんはドイツ国籍を選択するが、のちにナチスの台頭を嫌いフランスに帰化した。1926 年にはライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の奏者となった。ゲヴァントハウス管弦楽団で 1932 年まで楽長のフルトヴェングラーやワルターの下でコンサートマスターを務める。ゲヴァントハウスではドイツ語でカール・ミュンヒ (Carl Münch) と呼ばれていた。1929 年にパリで	


1393-051	4950 円 (税込)
	フランス RCA 645 004 ステレオ A 8/7
ラヴェル：管弦楽作品集 / ボレロ 亡き王女のためのパヴァーヌ ラ・ヴァルス	
C. ミュンシュ指揮ボストン so. J. スタリヤーノ (hr)	
レーベルタイプ：【フランスでのステレオ・オリジナル】 - アズキ / 銀 RCA Victor 逆内溝, 12 時方	
ジャケット：【フランスでのステレオ・オリジナル】 - 折返表コートペラ, 11 時に DYNAGROOVE (白文字)・	
トピックス：1962 年 3 月 26 日米国ボストン・シンフォニーホールでのモノラル / ステレオ録音, 録音技師：Lewis Layton, プロデューサー：Richard Mohr, 米国では 1963 年頃 Radio Corporation Of America によりコピーライト登録・同年米 RCA:LM 2664/LSC 2664 にて初リリース	
キズ情報：	
商品説明：1962 年ボストン。ミュンシュの面目躍如たる内容。ボストン so. の音楽監督として最後のシーズンに、最も得手とするラヴェルとドビュッシーを 2 枚の LP に一気に録音。曲によっては 2、3 度目ともなるが、オケが最も熟したと見た最後の年、一つのメモリーとして残した。ここには長年心血を注いだオケとの喜びに満ちた集大成的音楽が刻まれている。音は録音の関係からやや強いが、ミュンシュが目指したフランス的なものはしっかりと体現されている。シャルル・ミュンシュ (1891-1968) は、当時ドイツ帝国領であったアルザス地方ストラスブルに生まれ、いったんはドイツ国籍を選択するが、のちにナチスの台頭を嫌いフランスに帰化した。1926 年にはライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の奏者となった。ゲヴァントハウス管弦楽団で 1932 年まで楽長のフルトヴェングラーやワルターの下でコンサートマスターを務める。ゲヴァントハウスではドイツ語でカール・ミュンヒ (Carl Münch) と呼	


1393-052	4950 円 (税込)
	フランス RCA 640 739 ステレオ A 7
ショーソン： 交響曲 Op.20 フランク： 交響詩「のろわれた狩人」	
C. ミュンシュ指揮ボストン so.	
レーベルタイプ：【フランスでのステレオ・オリジナル】 - アズキ / 銀 RCA Victor 逆内溝, 12 時方	
ジャケット：【フランスでのステレオ・オリジナル】 - 折返表コートペラ, 1 時に黒背景口 RCA Victor	
トピックス：【入荷の少ない希少タイトル!】-1962 年 2 月 26 日米国ボストン・ボストン・シンフォニーホールでのモノラル / ステレオ録音, 録音技師：Lewis Layton, プロデューサー：Richard Mohr, 米国では 1962 年頃 Radio Corporation Of America によりコピーライト登録・同年米 RCA:LM	
キズ情報：	
商品説明：フランス RCA ステレオというのは、米 RCA の LSC と対極にある音だと思う。LSC のデジタル派手な音は、どうしたわけか、人々に撫でられてすっかり丸くなった登山道の岩石のように柔らかく、穏やかに変化し、音楽の必要な所が残る。フランス人達が好む音質になっている。国民性というのは恐ろしいものだ。ボストンを振ったミュンシュの RCA 録音は、アメリカ国民向けか、非常に大胆な表現を見せ、ある意味痛快なスタイル。少々のやりすぎも仏プレスで快く聴ける! 録音は 1962 年ボストンでショーソン / フランクという余りにフランス的 2 曲。フランク (1822 - 1890) とショーソン (1855-1899) は師弟関係にあり、ショーソンはパリ音楽院でフランクの生徒であった。ショーソンはローマ賞受賞を逃したことを契機に、たった一年で音楽院を退学したがフランクとの親交は 1890 年 (フランクの歿年) まで続いた。ショーソンは 1886 年にサン＝サーンスが組織したフランス国民音楽協会に参加した為	


1393-053	3850 円 (税込)
	フランス RCA 840 500 ステレオ A 8/7
ベルリオーズ：序曲集 / ローマの謝肉祭、ペアトリスとベネディクト 海賊、ベンヴェヌート・チェッリーニ トロイアの人びと	
C. ミュンシュ指揮ボストン so.	
レーベルタイプ：【フランスでのステレオ・第2版】 - 赤 / 黒 RCA Victor 逆内溝, 12 時方向に黒塗漬	
ジャケット：【フランスでのステレオ・オリジナル タイプ】 - 折返表コートペラ, 1 時に ARC-EN-CIEL	
トピックス【仏ステレオは初入荷!】-A 面 3 曲:1958 年 12 月 1 日, B 面 2 曲:1959 年 4 月 6 日米国・ボ ストン・シンフォニー・ホールでのモノラル/ステ レオ録音, 録音技師:Lewis Layton, プロデュー サー:Richard Mohr, 米国では 1961 年頃 Radio Corporation Of America によりコピーライト登 キズ情報:	
商品説明:ミュンシュのごさっぱりとした表現は どのレーベルから出た録音にも共通している。こ のフランス・モノラル盤で充分に味わえる。特に 米国 RCA の音質に抵抗のある方にはこれほどマッ チした音質はあるまい。ミュンシュのラテン気質 を余すところなく生かした色鮮かで豊かな肉付け がしっかりと出てくる。基本の見通しの良いすつき りした演奏はミュンシュらしい。ただうるさいだ けでなく、モノラルの温かみのあるサウンドで全 体が包まれている。一体この技術はどこへ行っ てしまったのだろうか。技術理論が優先してしまう どこの国と異なり、フランスのレーベルは音楽第 一優先。1950 年代の中期からステレオが当然と なった米国と異なり、モノラルが 1970 年頃まで 流通していた国である。ボストン so. からこれだ けフランス的気分を出せるのもミュンシュなら では。両者が相まってお祭りのような序曲集に仕上 がっている。1958 年 12 月, 1959 年 4 月録音。 フランス物では米国最高レベル!	


1393-054p	4950 円 (税込)
	フランス RCA SOR 640 725 ステレオ A 7
ミヨー: プロヴァンス組曲 Op.152c バレエ音楽「世界の創造」Op.81	
C. ミュンシュ指揮ボストン so.	
レーベルタイプ：【フランスでのステレオ・オリジ ナル】 - アズキ / 銀 RCA Victor 逆内溝, 12 時方	
ジャケット【フランスでのステレオ・オリジナル (米 国製)】 - 米国製厚手ボード, 11 ページに A3 リブ	
トピックス:プロヴァンス組曲:1960 年 11 月 21 日, 世界の創造:1961 年 3 月 13 日, 米国ボストン・シ ンフォニー・ホールでのモノラル/ステレオ録音, 録音技師:John Crawford (プロヴァンス組曲)/ Lewis Layton(世界の創造), プロデューサー:Max Wilcox, 米国では 1962 年頃 Radio Corporation キズ情報:	
商品説明:1960 年 11 月 21 日と 1961 年 3 月 13 日 のボストン・シンフォニー・ホールでの録音。収 録の 2 曲は録音日が異なる。米国ではこれらを まとめて 1961 年に LD 2625/LDS 2625(Soria Series)にて初リリース。Soria Series 特有のボ ード・ジャケットに入る。ミヨーのバレエ音楽「世 界の創造」はジャズの要素を取り入れた斬新な 内容。「プロヴァンス組曲」はプロヴァンス地方 の民族色豊かな色彩を持つ 8 つの小品から構成 される作品で、カンブラからいくつかの旋律を借 用して作られている。元々兵士に纏わる物語を題 材にしたバレエ音楽である。「プロヴァンス組曲」 には管弦楽曲ヴァージョンの Op. 152c とバレエ ヴァージョンの Op. 152d の 2 種が存在するが、 ここでは管弦楽曲ヴァージョンの Op. 152c が使 われている。Op.152d は通常、吹奏楽(管楽)版 として演奏される。表紙にはフランスの巨匠画家 フェルナン・レジェの絵を使ったジャケットが一 層 LP の価値を高める。現代曲ながら、親しみを	


1393-055	3300 円 (税込)
	フランス RCA 650 013 ステレオ A: グランプリ・ シール 8/7
ドビュッシー: 映像~「イベリア」(全 3 曲) アルベニス: イベリア(全 5 曲)	
C. ミュンシュ指揮フランス国立放送 o.	
レーベルタイプ：【フランスでの再版】 - 赤 / 黒 Red Seal, グルーウガード厚, スタンパー / マトリ	
ジャケット：【フランスでの再版】 - 見開両面コ ート, 12 時に ORTF ロゴ付き, 1 時に Red Seal, ジャ ケット	
トピックス：【仏 RCA は初入荷の希少プレス!】 -1966 年 10 月パリでのステレオ録音, フランス国 立放送局協会協賛録音, 詳細不明, 1968 年コン サート・ホール・グループによりコピーライト登録・ 同年フランスでは仏 Concert Hall:SMS 2494(ア ズキ / 銀 GG レーベル・折返表コー・ジャケット入 キズ情報:	
商品説明:この録音の音源は RCA ではなくコン サート・ホール・グループである。オケはボスト ン so. ではなく、1966 年 10 月パリで ORTF(フ ランス国立放送 o.) と録音したもので、フランス国 立放送局協会協賛録音である。内容はミュンシュ のフランス物である。1968 年コンサート・ホール から SMS 2494 という番号でステレオのみ発売さ れた。フランスでは何故か 1977 年頃になってフ ランス RCA から 650 013 という番号でも発売され た LP が当盤である。音源が CHS 系とは言え、悪 かるうはずがない。曲はドビュッシーの「映像」 から第 2 曲、そしてアルベニスの代表作の 12 曲 からなる「イベリア」全曲、ピアノ曲としても演奏 される。曲の良し悪しさえ大きく印象付けてしま う指揮者、こういう曲を得手としているだけあ って、洗練されたオケ運び、こねられた表情、豊か な情感とセンスの良さ、どれを取っても文句なし の一流の演奏だ。音質もバテプレスのステレオ。 本来コンサート・ホールがオリジナルであるが、	

1393-056	3850 円 (税込)
	フランス RCA 640 687 ステレオ A 7
シューベルト: 交響曲 8 番 D.759「未完成」 交響曲 5 番 D.485	
F. ライナー指揮シカゴ so.	
レーベルタイプ：【フランスでのステレオ・第 2 版】 - アズキ / 銀 RCA Victor 逆内溝, 12 時方向に銀	
ジャケット：【フランスでのステレオ・第 2 版】 - 折返表コートペラ, 1 時に黒背景 RCA O ロゴ (白	
トピックス:未完成 8 番:1960 年 3 月 26 日 /5 番:1960 年 4 月 27 日・米国シカゴでのモノラル/ ステレオ録音, 録音技師:Lewis Layton, プロ デューサー:Richard Mohr, 米国では 1961 年頃 Radio Corporation of America によりコピーラ イト登録・同年米 RCA:LM 2516/LSC 2516(SD レ キズ情報:軽度の盤歪みあり・端で針先が上下 2mm 程度動くがトレースは問題なく音揺れもない 通常より安価とした	
商品説明:フリッツ・ライナー (1888 - 1963) と いえば日本では RCA の Living Stereo シリーズの ステレオ・高音質盤の指揮者としての顔が大半を 占める様だが、1922 年には渡米してシンシナティ 交響楽団音楽監督 (~1933 年) を務めている。 その後はずっと米国のオケを歴任、1938 年、ピ ッツバーグ交響楽団音楽監督 (~1948 年)、1948 年、 メトロポリタン歌劇場指揮者 (~1953 年)、1953 年、シカゴ交響楽団の音楽監督 (~1962 年)。 また 1940 年代後期に RCA がニューヨークにお いて編成した録音専用オーケストラである RCA ビク ター交響楽団を指導し、アメリカ一流の水準に育 て上げ、モノラル期には多くの録音を RCA ビク ター交響楽団と行っている。ハンガリー人ではあるが ドイツで活躍した。その後 1922-1933 年にシンシ ナティ交響楽団首席指揮者、1938-1948 年にピ ッツバーグ交響楽団首席指揮者・音楽監督、1948- 1953 年メトロポリタン歌劇場指揮者、1953-1963 年にシカゴ交響楽団音楽監督と米国のオケを歴	


1393-057	7700 円 (税込)
	フランス RCA 640 784
	ステレオ
	A
	8/7
<p>レスピーギ： 交響詩「ローマの松」 交響詩「ローマの噴水」</p>	
F. ライナー指揮シカゴ so.	
<p>レーベルタイプ：【フランスでのステレオ・オリジナル】-アズキ/銀 RCA Victor 逆内溝, 外周</p> <p>ジャケット：【フランスでのステレオ・オリジナル】-表ツヤ厚紙, 背文字：あり (黒色), 裏文字あり</p> <p>トピックス：1959 年 10 月 24 日・米国・シカゴ・オーケストラホールにてモノラル/ステレオ録, 録音技師:Lewis Layton, プロデューサー: Richard Mohr, 米国では 1960 年頃 RCA Corporation of America によりコピーライト登録・同年米 RCA:LM 2436/LSC 2436(SD レーベル)にて初リリース, 英</p>	
キズ情報:	
<p>商品説明: 冒頭から星がきらきら輝くような、物凄く音響に、耳がマヒそうな程のオーディオファイル。特に管楽器のストレートな音が、本物よりもリアルに響く。これ以上だともう止めて欲しいと思う寸前で止まっている。しかし、一度こういった音を聴いてしまうとしばらくは何も聴かないほうがよい。何度も繰り返し聴くには大変な LP。米国盤の入荷は当社では少ない。ライナー程晩年になっても衰えというものと無縁であった指揮者は少ない。フリッツ・ライナー (1888 - 1963) といえど日本では RCA の Living Stereo シリーズのステレオ・高音質盤の指揮者としての顔が大半を占める様だが、1922 年には渡米してシンシナティ交響楽団音楽監督 (~1933 年) を務めている。その後はずっと米国のオケを歴任、1938 年、ピッツバーグ交響楽団音楽監督 (~1948 年)、1948 年、メトロポリタン歌劇場指揮者 (~1953 年)、1953 年、シカゴ交響楽団の音楽監督 (~1962 年)。また 1940 年代後期に RCA</p>	


1393-058	7700 円 (税込)
	フランス RCA SOR 640 560
	ステレオ
	A
	8/7
<p>ベートーヴェン： 交響曲 7 番 Op.92</p>	
H.v. カラヤン指揮ウィーン po.	
<p>レーベルタイプ：【フランスでのステレオ・オリジナル】-アズキ/銀 RCA Victor 逆内溝, 外周</p> <p>ジャケット：【フランスでのステレオ・オリジナル】-折返表コートペラ, 11 時に Soria Series ロゴ, 1</p> <p>トピックス：1959 年 3 月 9-10 日ウィーン・ソフィエンザールでのモノラル/ステレオ録音, 録音技師:James Brown, プロデューサー: Erik Smith/John Galshaw, 英国では、1959 年 The Decca Record Company Limited. London によりコピーライト登録・同年英 RCA:RB 16212/SB 2087にて</p>	
キズ情報:	
<p>商品説明: カラヤンの RCA 発売分ははっきりしている。その大半がウィーン po. との DECCA チームによる録音で全て J. カルショウのプロデュースである。それまで英国 EMI がかかっていたカラヤンをついに DECCA が録音できた暁の年であり、録音には最高のオケと録音チームで臨んだ歴史に残る録音群である。また戦力的にこの年、カラヤンはウィーン・フィルとのインド、日本、アメリカへの 40 日間の演奏旅行を控え、特にアメリカでの自らの LP レコードの販路強化の為に、米 RCA と提携したばかりの英 Decca と契約を結び、その為 DECCA 発売ではなく RCA 発売としたのである。カラヤン/ウィーン po. が演奏旅行の曲目としていたベートーヴェンの交響曲第 7 番、ブラームスの交響曲第 1 番などが事前にセッション録音され、日本やアメリカを訪れたタイミングでその LP レコードを発売するというスケジュールが生まれ、一行された。従って録音の選曲は J. カルショウが勝手に選んだものではなく、事前に決まって</p>	


1393-059	4400 円 (税込)
	フランス RCA 445 002
	ステレオ
	A
	7
<p>シベリウス：管弦楽曲集 / フィンランディア、トウオネラの白鳥 悲しいワルツ、ポホヨラの娘 レンミンカイネンの帰郷</p>	
M. グールド指揮モートン・グールド o. H. シャピロ (vc) A. ゴルツァー (e-hr)	
<p>レーベルタイプ：【フランスでのステレオ・オリジナル】-黒/銀 RCA Victor 狭内溝, 外周 5mm に</p> <p>ジャケット：【フランスでのステレオ・オリジナル】-折返表コートペラ, 11 時に Dynagroove・下に</p> <p>トピックス：1962 年 11 月 15-17 日、米国でのモノラル/ステレオ録音, 録音場所不明, 録音技師:Lewis Layton, プロデューサー: Joseph Habig, 米国では 1963 年米 RCA:LM 2666/LSC 2666(SD・Dynagroove レーベル)で初リリース、英国では同年英 RCA:RB 6553/SB 6553(赤/銀・</p>	
キズ情報:	
<p>商品説明: モートン・グールド (1913-1996) はニューヨーク州生まれのピアニスト・指揮者・編曲家。エンターテイメント系の作品を多く作曲し、それらを自ら演奏。日本でも一時「日曜洋画劇場」のエンディングテーマを担当した。シカゴ so. を振ったアイブスの交響曲 1 番 (LSC 2893) でグラミー賞も受賞している。いわゆるオーディオファイルがお好みの方には重要な指揮者。このシベリウスも RCAらしい大胆でスケールの大きな録音。仏プレスでも音の良い黒レーベルを使用。オーケストラ名には「彼のオーケストラ」と表記されているが当社ではモートン・グールド o. と表記している。このオケは常設の専属オーケストラではない。録音用臨時編成の主に ニューヨークの一流スタジオ奏者で構成される、その都度集めて編成される仕組みと思われる。モートン・グールド自身が編曲、指揮、プロデュースを一体で担うケースが多く、音楽的主導権が完全に彼にあった為「彼のオーケストラ」と表記されるようである。スト</p>	

1393-060	3300 円 (税込)
	フランス RCA 440 653
	ステレオ
	A
	7
<p>J.C. バッハ：交響曲 Op.18-2 ヴィヴァルディ：2Vn 協奏曲 Rv.522 ハイドン：交響曲 100 番「軍隊」Hob.I:100</p>	
C. ガーハート指揮ロイヤル po.	
<p>レーベルタイプ：【フランスでのステレオ・オリジナル】-黒/銀 RCA Victor 狭内溝, 外周 5mm に</p> <p>ジャケット：【フランスでのステレオ・オリジナル】-折返表コートペラ, 1 時に地色背景口 RCA</p> <p>トピックス：【入荷の少ない希少タイトル!】-1962 年頃ロンドンでのモノラル/ステレオ録音, 録音詳細不明だが自身のプロデュースと思われる、英国では 1962-3 年頃英 RCA にて発売されたと思われるが詳細不明、米国での発売も詳細不明、フランスでは 1964 年頃 RCA:430 653/440 653(当</p>	
キズ情報:	
<p>商品説明: 指揮者チャールズ・ガーハート (1927 - 1999) は米国アーカンソー州リトルロックで育ち、5 歳でピアノ、9 歳で作曲を学ぶ。イリノイ大学、南カリフォルニア大学、ウィリアム・アンド・メアリー大学など、複数の大学で音楽と工学を学んでいる。また、個人レッスンやジュリアード音楽院でもピアノを学んだ。第二次世界大戦中、アリゾナ列島で海軍の従軍牧師補佐として従軍した為、正式な教育は中断されてしまった。彼はニューヨークのレコード店で働いた後 1951 年から 1955 年にかけては、RCA ビクター・レコードの技術面を担当した。RCA の技師としてキルステン・フラグスタッド、ウラディミール・ホロヴィッツ、ウィリアム・カペル、ワンダ・ランドフスカ、ジンカ・ミラノフの録音にも参加した。晩年のアルトゥーロ・トスカニーニとの RCA のプロデューサーとなった事でトスカニーニは彼に指揮法を学ぶよう勧めた。1961 年、彼はルネ・レイボヴィッツ指揮ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団を担</p>	

1393-061	4950 円 (税込)
	フランス RCA SOR 640 712 ステレオ A 8/7
ブラームス: Vn・Vc の二重協奏曲 Op.102	
J. ハイフェッツ (vn) G. ピアティゴルスキー (vc) A. ウォーレンスティン指揮 RCA ビクター so.	
レーベルタイプ: 【フランスでのステレオ・オリジナル】-黒/銀 RCA Victor 狭内溝, 外周 5mm に	
ジャケット: 【フランスでのステレオ・オリジナル】-折返表コートペラ, 2 時に白ベース口 RCA	
トピックス: 1960 年 5 月 19-20 日米国ハリウッド・リパブリック・スタジオ・サウンド・ステージ 9 でのモノラル/ステレオ録音, 録音技師:John Crawford, プロデューサー:John Pfeiffer, 米国では 1961 年 Radio Corporation of America によりコピーライト登録・同年米 RCA・Soria	
キズ情報:	
商品説明: RCA お得意の名手共演、1960 年録音。100 万ドル・トリオの一人であるフォイアマンを事故で亡くした RCA は、ピアティゴルスキーを入れて再びハイフェッツを中心とした巨匠共演を制作。米国では 1960 年豪華な SORIA シリーズで発売。3ch 録音の為モノラルも凄い迫力で迫る。ハイフェッツにとってピアティゴルスキーは長年付き合う相棒となる。格安で楽しめるスリリングな二人の共演。ここではチェロのピアティゴルスキーを紹介したい。グレゴール・ピアティゴルスキー(1903-1976)はウクライナのエカテリノスラフ生まれ。モスクワ音楽院でアルフレート・フォン・グレンらに師事し、15 歳でポリショイ劇場のチェリストに就任、レーニン弦楽四重奏団にもチェリストとして参加。1921 年、ドイツに渡ってフーゴ・ベッカーとユリアス・クレンゲルという二大名教師の下で研鑽を積み、1924 年にはフルトヴェングラーの要請でベルリン・フィルの首席チェロ奏者に就任した逸材である。1929 年にベルリン・フィルを	

1393-062	5500 円 (税込)
	フランス RCA 640 566 ステレオ A 8/7
メンデルスゾーン: Vn 協奏曲 Op.64 プロコフィエフ: Vn 協奏曲 2 番 Op.63	
J. ハイフェッツ (vn) C. ミュンシュ指揮ボストン so.	
レーベルタイプ: 【フランスでのステレオ・オリジナル】-アズキ/銀 RCA Victor 逆内溝, 外周	
ジャケット: 【フランスでのステレオ・オリジナル】-折返表コートペラ, 1 時に黒ベース口 RCA	
トピックス: 1959 年 2 月 23/25 日米国ボストン・シンフォニー・ホールでのモノラル/ステレオ録音, 録音技師:John Crawford, プロデューサー:John Pfeiffer, 米国では 1959 年頃 Radio Corporation of America によりコピーライト登録・同年米 RCA:LM 2314/LSC 2314 にて初リリース, 英国では	
キズ情報:	
商品説明: 2 曲とも 1959 年米国ボストンでモノラル/ステレオ録音された。メンデルスゾーンは 3 回録音があり、これは 3 回目録音で初のステレオ録音となる。プロコフィエフ 2 番は 1937 年(クーセヴィツキー/ボストン)の旧録音があり、これは 2 回目となる。このプロコフィエフ 2 番は作品完成後の 2 年後にハイフェッツが取り上げたことで普及が進んだと言われている。速足でどんどん突き進み冷たい印象を残すヴァイオリン奏者、ヤシツキ・ハイフェッツ(1901-1987)はロシア帝国領(現リトアニア領ヴィリニウス)で生まれた。アウアー(ロシア派)のボウイングを基本とする。弓速が速く脱力しているが、弓の返しは等速で常に緻密であると言われる。完璧な技巧があって初めて可能になる正確で音楽性も保った速弾きなのである。ハイフェッツの時代にいたヴァイオリニスト達は、彼の神懸かり的な演奏の為に非常に苦労して、例外なく「ハイフェッツ病(ハイフェッツへの劣等感)」にかかったといツァーク	

1393-063	19800 円 (税込)
	英国 RCA SB 2149 ステレオ A 7
ベートーヴェン: Pf 協奏曲 1 番 Pf ソナタ 22 番	
S. リヒテル (pf) C. ミュンシュ指揮ボストン so.	
レーベルタイプ: 【英国でのステレオ・オリジナル】-赤/銀中溝 LIVING STEREO, 12 時にラウンド Red	
ジャケット: 【英国でのステレオ・オリジナル】-折返表コートペラ, 11 時に STEREO, 1 時に黒ベ	
トピックス: 1960 年 11 月 2-3 日米国ボストン/シンフォニー・ホールでのモノラル/ステレオ録音, ピアノ・ソナタ第 22 番は 1960 年 11 月 29-30 日ニューヨークの RCA スタジオ, リヒテル米国初訪問のツアー中の RCA 録音(MELODIYA=RCA 共同制作), 録音技師:John Crawford / LewiC Layton,	
キズ情報:	
商品説明: リヒテルの特徴は独学でピアノを始めた所だとう。後に名匠ネイガウスに師事したが、既に完成しており何も教えることはなかったとネイガウスが残している。当盤は初の米国ツアーに挑んだ 1960 年の録音。ホロヴィッツと並び評されるこのピアノの巨人を米 RCA は見逃さず、可能な限りの録音を試みた。ミュンシュ/ボストン so. の力のあるオケに一步も引けを取らない精力の塊のようなリヒテルのピアノ。1958 年第 1 回チャイコフスキー国際コンクールを制したクライバーンがリヒテルについて「生涯で聴いた中で最もパワフルな演奏であった」と帰国後に語ったことで米国での名声が高まり、1960 年にアメリカ各地でコンサートを行い、センセーショナルな成功を収めた。これはそのツアー真っ只中の録音である。RCA が威信をかけてミュンシュとの共演で録音を行った 1 枚。勿論 MELODIYA 側でもリリースされたがモノラルのみの発売。英国 SB 番号が最も希少で音質が良い!	

1393-064	6600 円 (税込)
	フランス RCA 640 548 ステレオ A 7
ラフマニノフ: Pf 協奏曲 3 番 Op.30	
V. クライバーン (pf) K. コンドラシン指揮 シンフォニー・オブ・ジ・エア	
レーベルタイプ: 【フランスでのステレオ・オリジナル】-アズキ/銀中溝 2 本線外溝, 12 時に○銀	
ジャケット: 【フランスでのステレオ・オリジナル(英国製)】-折返表コートペラ, 6 時にモノクロ	
トピックス: 1958 年 5 月 19 日ニューヨーク・カーネギーホールでのモノラル/ステレオ録音, 録音詳細不明, 米国では 1959 年頃 Radio Corporation of America によりコピーライト登録・同年米 RCA:LM 2355/LSC 2355 にて初リリース, 英国では 1959 年英 RCA:RB 16162/SB	
キズ情報:	
商品説明: 1958 年にモスクワで第 1 回チャイコフスキー国際コンクールが開催された。優勝はロシア人ではなく、アメリカ人のヴァン・クライバーン(1934-2013)だった。当時 23 歳であった。このコンクールは 1957 年 10 月のスポーツニク 1 号打ち上げによる科学技術での勝利に続く芸術面でのソビエトの優越性を誇る為に企画された。本選ではチャイコフスキー協奏曲第 1 番とラフマニノフ協奏曲第 3 番の演奏後はスタンディングオベーションが 8 分間も続いた。審査員一同は審査終了後、ソ連共産党中央委員会第 1 書記長のニキータ・フルシチョフに向かって、アメリカ人に優勝させてもよいか、慎重に聞いた。フルシチョフは「彼が一番なのか?」と確認し、「それならば賞を与えよ」と答えた。クライバーンは一躍アメリカの国民的英雄となる。このコンクールに審査員として参加していたスヴァトスラフ・リヒテルは、クライバーンに満点の 25 点を、他の者全てに 0 点をつけた。凱旋公演では、コンクール本選で指揮	

No. 1393 REG [ジャケ無し特集] 一覧

(直輸入LPの為、すべて未洗浄品。洗浄を希望する場合は注文時に御連絡ください。)

商品コード	レーベル	レコード番号	商品名	販売価格 (税込)	M/S	評価
REG-4478	伊DGG	2563 371	H.v.カラヤン指揮ベルリンpo. / チャイコフスキー:バレエ組曲「白鳥の湖」, 「眠りの森の美女」	¥660	S	-8
REG-4479	独DGG	2531 138	H.v.カラヤン指揮ベルリンpo. / モーツァルト:交響曲40番K.550, 41番「ジュピター」K.551	¥550	S	-7/6
REG-4480	独DGG	2535 111	E.ヨッフム指揮ベルリンpo. / ブルックナー:交響曲4番「ロマンティック」	¥660	S	-8/7
REG-4481	独DGG	2531 049	A.S.ムター(vn)H.v.カラヤン指揮ベルリンpo / モーツァルト:Vn協奏曲3番K.216, 5番K.219	¥550	S	-7
REG-4482	独DGG	18 199 LPM	D.オイストラフ(vn)F.コンヴィチユニー指揮ドレスデンsk. / ブラームス:Vn協奏曲Op.77	¥550	M	-7/6
REG-4483	独DGG	18 381 LPM	L.マゼール指揮ベルリンpo. / ベルリオーズ:劇的交響曲「ロメオとジュリエット」Op.17(ハイライト)	¥550	M	-6
REG-4484	独DGG	18 622 LPM	W.シュナイダーハン(vn)C.ゼーマン(pf) / ベートーヴェン:Vnソナタ3番Op.12-3, 4番Op.23, 6番Op.30-1	¥880	M	-7/6
REG-4485	独DGG	LPEM 19 235	S.ヤロフ指揮ドン・コサックcho. / ロシアの歌と合唱/ 輝く星, 良き少佐の歌, 船乗りの歌, テレク川の歌, 山の上で, 盗賊の歌, 他(全13曲)	¥550	M	-7
REG-4486	仏DGG	136 900	L.マゼール指揮ベルリンpo. / ベートーヴェン:交響曲6番Op.68「田園」, 12のコントルダンス(田舎舞曲)	¥550	S	-7/6
REG-4487	独DGG	138 678 SLPM	W.シュナイダーハン(vn)H.S.イツセルシュテット指揮ベルリンpo.(4番)/北ドイツ放送so.(5番) / モーツァルト:Vn協奏曲4番K.218, 5番K.219	¥1,650	S	-7
REG-4488	独DGG	138 777 SLPM	W.ケンプ(pf)F.ライトナー指揮ベルリンpo. / ベートーヴェン:Pf協奏曲5番Op.73「皇帝」	¥660	S	-8/7
REG-4489	独DGG	139 354 SLPM	K.ライスター(cl)アマデウスQt. / ブラームス:Cl五重奏曲Op.115	¥660	S	-7
REG-4490	独DGG	139 103 SLPM	アマデウスQt. / シューベルト:SQ15番Op.161	¥660	S	-7
REG-4491	独DGG	139 005-6 SLPM	H.v.カラヤン指揮ベルリンpo. M.シュヴァルベ(vn)A.シエルバウム(tp) K.H.ツェラー(f)E.ピヒト・アクセンフェルト(cemb) 他 / バッハ:ブランデンブルク協奏曲(全6曲)	¥880	S	-7
REG-4492t	独DGG	004 241	K.ベーム指揮ベルリンpo. / シューベルト:交響曲9番「ザ・グレート」~1楽章のリハーサル録音	¥550	M	-7/6
REG-4493	仏プライベート	VM 8004-05	G.フレミー(pf) / モーツァルト:Pfソナタ4番K.282, シューベルト:Pfソナタ13番D.664	¥660	S	-7/6
REG-4494	仏Ducretet Thomson	320C 021	J.P.ランパル(f)R.ヴェイロン・ラクロワ(cemb)J.ユシヨー(vc) / 「バッハ:FlとCembのソナタ全集Vol.1」Flソナタ1~4番	¥1,100	M	白6/5
REG-4495p	仏Ducretet Thomson	LPG 8336	H.カメシュ(ob)L.ウラッハ, F.バルトゼク(cl)K.エールベルガー(fg)A.カンパー(vn)E.ヴァイス(va)F.クヴァルダ(vc) / モーツァルト:Ob四重奏曲K.370, Fl四重奏曲K.285, ディヴェルティメントK.229~2番	¥1,100	M	白6/5

			
REG-4478			
独 DGG			
2563 371			
チャイコフスキー： 白鳥の湖 眠れるの森の美女			
H.v. カラヤン指揮ベルリン po.			
660円(税込)	S	-8	
未洗淨, 青2本線GG, 両穴内袋(ジャケ欠), 仏DGG:2530 195((P)1972), 2563 371は初入荷, 再版			


			
REG-4479			
独 DGG			
2531 138			
モーツァルト： 交響曲40番 K.550 交響曲41番 K.551「ジュピター」			
H.v. カラヤン指揮ベルリン po.			
550円(税込)	S	-7/6	
未洗淨, 青2本線GG, 両穴内袋(ジャケ欠), (P)(C)1978, 西独プレス, オリジナル, A面10h: 極小で数回出るシミ, 4h: 極小52回出るスレ			

			
REG-4480			
独 DGG			
2535 111			
ブルックナー： 交響曲4番「ロマンティック」			
E. ヨッフム指揮ベルリン po.			
660円(税込)	S	-8/7	
未洗淨, 青2本線GG, 両穴内袋(ジャケ欠), 再版(139 134-5 SLPMが初出), RESONANCE, A面12h: 微か数回出る凸			

			
REG-4481			
独 DGG			
2531 049			
モーツァルト： Vn 協奏曲3番 K.216 Vn 協奏曲5番 K.219			
A.S. ムター (vn) H.v. カラヤン指揮ベルリン po			
550円(税込)	S	-7	
未洗淨, 青2本線GG, 両穴内袋(ジャケ欠), (P)1978, '78年2月ベルリン録音, ヨアヒムのカデンツァ, ジャケ裏クリーム, オリジナル, 内袋書込み			

			
REG-4482			
独 DGG			
18 199 LPM			
ブラームス： Vn 協奏曲 Op.77			
D. オイストラフ (vn) F. コンヴィチュニー指揮 ドレスデン sk.			
550円(税込)	M	-7/6	
未洗淨, チューリップF, 両穴内袋(ジャケ欠), ETERNA:LPM 1015/820 003, '54年2月 ETERNA・モノラル録音, オリジナル, B面7h: 中5回出る点			

			
REG-4483			
独 DGG			
18 381LPM			
ベルリオーズ： ロメオとジュリエット Op.17 (ハイライト)			
L. マゼール指揮ベルリン po.			
550円(税込)	M	-6	
未洗淨, チューリップALLE GG, 両穴内袋(ジャケ欠), 初入荷, オリジナル, A面12h冒頭: 極小で広範囲にわたって出る点群, 3h: 小2回出る点, B面5h冒頭: 微か〜極小で広範囲にわたって出るスレ群, そのほか両面にスレ多数, 内袋書込み			

			
REG-4484			
独 DGG			
18 622 LPM			
ベートーヴェン： Vn ソナタ3番 Op.12-3 Vn ソナタ4番 Op.23 Vn ソナタ6番 Op.30-1			
W. シュナイダーハン (vn) C. ゼーマン (pf)			
880円(税込)	M	-7/6	
未洗淨, チューリップALLE F, 両穴内袋(ジャケ欠), モノラルオリジナル, ステレオ:138 122 SLPM, '59年ウィーン・2回目モノ/ステレオ全集録音の一つ, A面12h: 微か〜極小で断続的に出る2.5mmのスレ, B面9h: 小1回出るスレ			

			
REG-4485			
独 DGG			
LPME 19 235			
ロシアの歌と合唱/ 輝く星, 良き少佐の歌 船乗りの歌, テレク川の歌 山の上で, 盗賊の歌 他(全13曲)			
S. ヤロフ指揮ドン・コサック cho.			
550円(税込)	M	-7	
未洗淨, チューリップALLE GG, 両穴内袋(ジャケ欠), ステレオ:136 235 SLPEM, 初入荷, オリジナル, B面8h: ほとんど気にならない小スレ			

			
REG-4486			
仏 DGG			
136 900			
ベートーヴェン： 交響曲6番 Op.68「田園」 12のコントルダンス(田舎舞曲)			
L. マゼール指揮ベルリン po.			
550円(税込)	S	-7/6	
未洗淨, チューリップALLE GG, 両穴内袋(ジャケ欠), 独スタンプー使用, 初入荷, 再版, A面12/4h: 通過時微か程度で合わせて10回出る凸×2, B面6/8h: 通過時極小〜小程度で出る1cmシミ×3, そのほか微か〜極小で数回出る箇所			

			
REG-4487			
独 DGG			
138 678 SLPM			
モーツァルト： Vn 協奏曲 4 番 K.218 Vn 協奏曲 5 番 K.219			
W. シュナイダーハン (vn) H.S. イッセルシュテット (指揮) ベルリン po. (4 番) 北ドイツ放送 so. (5 番)			
1650 円 (税込)	S	-7	
未洗淨, チューリップ MIG GG, 両穴内袋 (ジャケ欠), 初出は ALLE・フラット盤・赤ステジャケ・ジャケ裏 '61, 第 2 版, A/B 面とも周回バチパチ音出る箇所			

			
REG-4488			
独 DGG			
138 777 SLPM			
ベートーヴェン： Pf 協奏曲 5 番 Op.73「皇帝」			
W. ケンプ (pf) F. ライトナー指揮ベルリン po.			
660 円 (税込)	S	-8/7	
未洗淨, チューリップ MIG, 両穴内袋 (ジャケ欠), ケンプ 2 回目ステレオ録音, フラット盤存在するが入荷少ない, 再版			

			
REG-4489			
独 DGG			
139 354 SLPM			
ブラームス： Cl 五重奏曲 Op.115			
K. ライスター (cl) アマデウス Qt.			
660 円 (税込)	S	-7	
未洗淨, チューリップ MIG, 両穴内袋 (ジャケ欠), (P)1967, オリジナル, ALLE・赤ステ存在しない			

			
REG-4490			
独 DGG			
139 103 SLPM			
シューベルト： 弦楽四重奏曲 15 番 Op.161			
アマデウス Qt.			
660 円 (税込)	S	-7	
未洗淨, チューリップ ALLE GG, 両穴内袋 (ジャケ欠), 再版, A 面 10h: 微か数回出る点群			

			
REG-4491			
独 DGG			
139 005-6 SLPM			
バッハ： ブランデンブルク協奏曲 (全 6 曲)			
H.v. カラヤン指揮ベルリン po. M. シュヴァルベ (vn) A. シェルバウム (tp) K.H. ツェラー (fl) E.P. アクセンフェルト (cemb) 他			
880 円 (税込)	S	-7	2 枚組
未洗淨, チューリップ MIG/青 2 本線, 両穴内袋 (ジャケ欠), バラ 2 枚セット, (P)1965, 138 976-7 SLPM が初出, 再版			

			
REG-4492t			
独 DGG			
004 241			
シューベルト： 交響曲 9 番「ザ・グレート」～ 1 楽章のリハーサル録音			
K. ペーム指揮ベルリン po.			
550 円 (税込)	M	灰共通 7/6	
未洗淨, チューリップ ALLE GG, 両穴コート内袋 (ジャケ欠), レア, オリジナル, A 面 2h: 微か～極小で数回出る点複数, 4h: 小～極小で 15 回程度出る小スレ複数, A/B 面ともその他微か程度で数回程度出る箇所			

			
REG-4493			
仏プライベート			
VM8004-05			
モーツァルト： Pf ソナタ 4 番 K.282			
シューベルト： Pf ソナタ 13 番 D.664			
G. フレミー (pf)			
660 円 (税込)	S	-7/6	
未洗淨, 黄/黒 GG, 両穴内袋 (ジャケ欠), 仏プライベート: VERITE MUSICALE, 初入荷, オリジナル, A 面 4/5/6h: 通過時極小程度で数周分出るシミ/複数スレ, B 面 12h: 微か 10+13 回出る小スレ, その他微か～極小で数回出る箇所			

			
REG-4494			
仏 Ducretet Thomson			
320C 021			
バッハ: Fl のソナタ全集 Vol.1/ Fl ソナタ 1～4 番			
J.P. ランパル (fl) R. ヴェイロン・ラクロワ (cemb) J. ユシヨー (vc)			
1100 円 (税込)	M	白 6/5	
未洗淨, 石像中溝 F, 厚紙内袋 (ジャケ欠), バラ 2 枚で完結 (320C 021/027) の前半, オリジナル, 2 枚揃えるの激難, スーパーレア, '48-'50 年初回モノラル全集, A 面 12-3h: 極小～小程度で数回～10 数回程度出るスレ複数, B 面 1h: 小程度で出る 5mm スレ, 10h: 小～中で出			

			
REG-4495p			
仏 Ducretet Thomson			
LPG 8336			
モーツァルト： Ob 四重奏曲 K.370 Fl 四重奏曲 K.285 ディヴェルティメント K.229 ～ 2 番			
H. カメシュ (ob) A. カンパー (vn) L. ウラッハ, F. パルトゼク (cl) K. エールベルガー (fg) E. ヴァイス (va) F. クヴァルダ (vc)			
1100 円 (税込)	M	白 6/5	
未洗淨, 石像中溝 F, 厚紙内袋 (ジャケ欠), 仏初出, ウェストミンスター録音・WL 5022, レア, オリジナル, A 面 5h: 極小レベルで 5 分程度出る 2mm のスレ, B 面 11h: 極小～小で 30 回程度出る点群			

- 新型洗淨キットのお知らせ -

今まで弊社で取り扱いのなかった乾式クリーナーと、
電解水仕様の洗淨液をセットにしたレコード洗淨キット。
試験販売分が完売となったため、正式な販売を決定しました。
洗淨液をスプレーすることで湿式として使えるクリーナーに加え、
レコード針クリーニング用のマイクロフラシと、
上記のクリーナー&フラシ洗淨用のフラシも附属します。

ACC-013 レコード洗淨キット (針用マイクロフラシ附属版)

通常価格：税込2000円

【アクセサリ一覧 / 2026年1月改定】

メンテ用品



レコード洗浄液&メンテナンス用品			
商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格
acc-008-001	レコード洗浄液 1000ml	純水を主成分とした当社オリジナルのレコード洗浄液 弊社のクリーニング済みレコードは全てこの液で洗浄	2200
acc-012-001	電解水レコード洗浄液 30ml	弊社従来製品よりも高い洗浄力を持つアルカリ電解水仕様の洗浄液 有効成分を紫外線から守る遮光スプレーボトル入り	660
acc-012-003	電解水レコード洗浄液 1000ml	弊社従来製品よりも高い洗浄力を持つアルカリ電解水仕様の洗浄液 有効成分を紫外線から守る遮光スプレーボトル付き	3300
acc-010-001	クリーニングクロス	当社推奨タツミ社製クリーニングクロス (50枚入り)	900
acc-012-002	レコード洗浄キットA	電解水レコード洗浄液30mlとクリーニングクロスのセット	1400
acc-013	レコード洗浄キットB	電解水レコード洗浄液30mlとクリーナー&針用フラシのセット	2000

ジャケット



白ジャケット(厚紙製) / ジャケット欠品の際に利用する厚紙製の汎用ジャケット (h=100枚&10%割引)				
商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格 (1枚)	販売価格(100枚)
acc-004-010 acc-004-010h	白ジャケット(厚紙製) 10インチ	紙製、白無垢の厚手ジャケット / 10インチ用	160	14400
acc-004-012 acc-004-012h	白ジャケット(厚紙製) 12インチ	紙製、白無垢の厚手ジャケット / 12インチ用	130	11700

特価品



【新品レコード内袋】			
商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格
acc-003-013	内袋10インチ (角型)	紙製&角型の内袋 / 10インチ用10枚セット※廃盤商品 (現品限り)	660 (10枚セット)
【中古レコード外袋】			
商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格
acc-005-007b	外袋 7インチ (中古)	薄手ビニール製の外袋 / 7インチ用10枚セット ※中古特価品のため若干の汚れと使用感あり	50 (10枚セット)
acc-006-012b	フタ付き外袋 12インチ (中古)	薄手ビニール製のフタ付き外袋 / 12インチ用50枚セット ※中古特価品のため若干の汚れと使用感あり	550 (50枚セット)



外袋(極厚ビニール製) / 日本では通常手に入らない英国製の外袋 (ジャケット保護および鑑賞用)			
商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格 (1枚)
acc-007-001	外袋 (厚手) 12インチ	3方向に補強が入った厚手ビニール素材の頑強な外袋(在庫限り) / 12インチ用	300

外袋

外袋(薄手ビニール製) / ジャケット保護に使用する一般的な外袋 (h=100枚 & 10%割引)				
商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格(1枚)	販売価格(100枚)
acc-005-007 acc-005-007h	外袋 7インチ	薄手ビニール製の外袋 / 7インチ用	20	1800
acc-005-010 acc-005-010h	外袋 10インチ	薄手ビニール製の外袋 / 10インチ用	40	3600
acc-005-012 acc-005-012h	外袋 12インチ	薄手ビニール製の外袋 / 12インチ用	30	2700
acc-005-013 acc-005-013h	外袋 13インチ	薄手ビニール製の外袋 / 5センチ厚くらいまでの箱モノ用	50	4500

フタ付き外袋(薄手ビニール製) / 上部にテープ付きのフタを設けた一般的な外袋 (h=100枚 & 10%割引)				
商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格(1枚)	販売価格(100枚)
acc-006-010 acc-006-010h	フタ付き外袋 10インチ	薄手ビニール製のフタ付き外袋 / 10インチ用	40	3600
acc-006-012h	フタ付き外袋 12インチ	薄手ビニール製のフタ付き外袋 / 12インチ用 (※単売無し)		2300
acc-006-013 acc-006-013h	フタ付き外袋 13インチ	薄手ビニール製のフタ付き外袋 / 5センチ厚くらいまでの箱モノ用	40	3600

内袋

内袋(プラスチック製) / 国内で一般的に使われる丸底型 (NAGAOKAタイプ) の内袋 (h=100枚 & 10%割引)				
商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格(10枚)	販売価格(100枚)
acc-001-007 acc-001-007h	内袋 (丸底) 7インチ	国内で一般的に使われる丸底型の内袋 / 7インチ用 (※単売無し)	130	1200
acc-001-010 acc-001-010h	内袋 (丸底) 10インチ	国内で一般的に使われる丸底型の内袋 / 10インチ用 (※単売無し)	180	1620
acc-001-012 acc-001-012h	内袋 (丸底) 12インチ	国内で一般的に使われる丸底型の内袋 / 12インチ用 (※単売無し)	120	1100

内袋(紙製) / ジャケットに収納しやすい角丸型 (R付き) の内袋 (h=100枚 & 10%割引)				
商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格(1枚)	販売価格(100枚)
acc-003-010 acc-003-010h	内袋 (紙製) 10インチ	紙製 & 角丸(R付き)型の内袋 / 10インチ用	90	8100
acc-003-012 acc-003-012h	内袋 (紙製) 12インチ	紙製 & 角丸(R付き)型の内袋 / 12インチ用	70	6300

※入荷状況によって、お取り寄せ対応になる場合がございます。

*** 通常の通販における規定となります。バーゲン期間および他の経路でのご注文に際しては別途規定を設けております。***

ご注文の前に 商品によっては50年以上の歳月を経過しています。程度の差こそあれパチパチ音、反り、微細なキズ等はあるものとお考え下さい。一部の特価品を除いて盤面のクリーニングを施しておりますが、ご購入後も継続的なメンテナンスが必要な場合もございます。アナログ盤の特性をご理解の上、お買い上げを前提としてご注文いただくようお願い致します。

お支払い 登録会員様におきましては、後払いでの決済が可能です。返品等への対応を含め、お客様を信頼しての配慮となります。商品到着後、8日以内にお支払いをお願い致します。（納品書が複数の場合、合計金額をまとめてお支払いください）

- 郵便振替 金額を記載した振替用紙を同梱いたします。氏名と住所を御記入の上、郵便局でお支払いください。
- ゆうちょ銀行 ○一九店（ゼロイチキュー店） 当座 0720691 エテルナトレーディング（ユ （振込手数料：お客様負担）
- 三菱UFJ銀行 調布支店 （普）1410199 エテルナトレーディング（ユ （振込手数料：お客様負担）
- 代引き 商品到着時に配達員にお支払い頂きます。ご注文時にお申し付けください。 （代引手数料：税込400円）
- カード払い WEBサイトからの購入、または店頭でのみご利用可能です。

返品 直接確認できない通販の特性上、返品を承ります。ただし、ジャケット裏の弊社シリアル番号シールが確認出来る商品のみとなります。返品の際は電話またはメールで弊社までご連絡の上、商品到着後8日以内に返送いただくようお願い致します。返送料は原則としてお客様負担となります。事前連絡無しに着払いの着払いは堅くお断り致します。

送料 お買い上げ金額合計、税込3,300円以上で送料無料。（弊社指定業者のみ。お客さまが配送業者を指定される場合は別途手数料がかかります。）税込3,300円未満の場合は送料として税込550円がかかります。代引き支払い、または日時指定ご希望の場合は税込400円の手数料を申し受けます。引き支払いと日時指定を併用した場合も、手数料は合算されず税込400円となります。大型商品や大量注文等で梱包が例外的に大きい場合、当規定とは別に実費を頂戴する場合がございます。（※事前にご連絡いたします）

発送 バーゲン期間などの特殊な場合を除き、ご注文から『3営業日以内』に発送します。商品は段ボールで梱包し、スチスチ複数枚で保護します。外袋は原則つきません。アクセサリとして販売しております。店頭受け取りの場合は、御注文から2週間以内にお越しください。期限を過ぎた場合、発送対応に変更させていただく場合がございます。